

令和5（2023）年度
中部環境パートナーシップオフィス運営業務
年間報告書

2024年3月

中部環境パートナーシップオフィス
（運営受託：一般社団法人環境創造研究センター）

年間報告書

目次

業務概要	1
1 業務実施計画の作成	7
2 ESD/EPO 運営委員会の設置・開催	13
3 基本業務	17
(1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務	17
(2) 相談対応・対話の場づくり等	19
(3) 施設の維持・管理	34
4 協働取組の促進のための業務	37
(1) 地域ネットワークを活用した協働取組の推進（地域循環共生圏フォーラムの開催）	37
(2) 遠隔地の協働コーディネーターと連携した実践的取組	40
(3) 活動主体への活動の可視化支援とフィードバック（活動見える化プログラムの活用）	46
(4) 活動主体等への情報・意見交換会の実施	55
(5) ローカル SDGs/地域循環共生圏のためのグループワーキング	56
5 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務	59
(1) 地域プラットフォームの環境整備支援等業務	59
(2) 中間共有会	62
(3) ステークホルダーミーティング業務	64
(4) GEOC が主催する会議等への参加	65
(5) 事業化支援団体の活動の情報共有	65
(6) 卒業団体のフォローアップ調査	66
(7) 身近な自然資本活用に関する意見交換会の開催	68
(8) グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業	72
6 中部地方 ESD 活動支援センター運営業務	83
(1) 中部地方 ESD 活動支援センターの運営・推進	83
(2) ESD 活動に関するネットワークの構築	84
(3) 全国センターとの連携協力の推進等	89
(4) 自然資産等の活用による ESD 促進（ESD ダイアログの開催）	91
(5) 域内外の多様な主体の連携促進、交流機会の提供	95
(6) 「中部版 ESD ワークブック」の作成	104
(7) ESD 推進のための教育現場等の実態把握と連携強化	113
(8) 地域循環共生圏への協力、全国センターとの連携協力	121
7 ESD/EPO の行事を通じた行動の変容の把握	123
(1) 代表的な行事後の行動変容の把握	123
(2) 地域循環共生圏及びローカル SDGs 実践状況等の評価	127
8 関係主体との連携及び協働に関する業務	147
(1) 中部地方環境事務所との情報共有及び意見交換	147
(2) 全国ネットワークの活用及び連携の確保・強化	150
9 外部資金を活用した事業	151
10 第6期業務実施概要報告書／今後に向けて	155

本報告書の集計データ等について

- ※ 本報告書は2024年3月17日までの業務を3月18日時点でとりまとめ、作成した。
- ※ 掲載した令和5（2023）年度の年間合計の集計データ等はすべて、2023年4月1日から2024年3月17日までのデータの集計結果となっている。

業務概要

(ア) 業務の目的

持続可能な社会を構築する上で、国民、民間団体等が行う環境保全活動並びにその促進のための環境保全の意欲の増進及び環境教育が重要であることに加え、これらの取組を効果的に進める上で協働取組が重要となる。

「環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律」（以下「環境教育等促進法」という。）第19条において、「国は、国民、民間団体等が行う環境保全等を効果的に推進するため、情報提供や助言、交流機会の提供等を行う拠点としての機能を担う体制の整備に努めること」とされており、同法第7条で定める国の方針（以下「促進法基本方針」という。）により、環境省においては、協働取組を構築・促進するための中核的な担い手として「環境パートナーシップオフィス（以下「EPO」という。）」を全国に設置し、事業を実施しているところである。

また、持続可能な社会の創り手を育成するESDの推進のため、文部科学省と環境省が共同で全国ESD活動支援センター（以下「全国センター」という。）と8つの地方ESD活動支援センター（以下「地方ESDセンター」という。）を設置し、第2期ESD国内実施計画に基づくESDの全国的な展開、支援体制の充実等を図るとともに、気候変動を切り口としたESDの取組も進めていくところである。

本業務は、中部地方EPOが環境教育等促進法の規定する国の役割を果たすため、また地方ESDセンターが第2期国内実施計画等を踏まえた役割を果たすため、全国のEPOと地球環境パートナーシッププラザ（以下「GEOC」という。）のネットワーク（以下「EPOネットワーク」という。）を活用するとともに、中部地方の事情を踏まえて各種事業等を企画し、それを実施することにより、市民、NPO/NGO、行政、企業等、社会を構成する様々な主体による協働・連携の取組を広げ、効果的・効率的に環境保全活動、多種多様な環境施策への協力及びESD活動等を活性化させることを目的に実施した。

また、「第5次環境基本計画」（平成30年4月閣議決定）において提唱された、環境・経済・社会の統合的向上を図る「地域循環共生圏」の考え方及び「地域課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に資する脱炭素」をキーメッセージとして発信している「地域脱炭素ロードマップ」（令和3年6月国・地方脱炭素実現会議決定）の考えに基づき、各地域が自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合う取組を推進し、持続可能な地域づくりを通じて、環境で地方を元気にしていくとともに、持続可能な社会を構築するための創造に取り組むことを目的に実施した。

(イ) 業務の内容

様々な主体による協働・連携の取組を通じた環境保全活動等を活性化するため、市民、NPO/NGO、行政、企業、金融機関等との連携を確保しながら、①環境教育等促進法の拠点としての推進、②環境教育・SDGs/ESDの推進、③地域循環共生圏の創造の推進について、各種業務を行った。また、これらの活動状況等について、Web等を通じて広く発信した。

具体的な事業内容については、次項（2）の運営協議会等において業務実施計画の検討を行った上で、地方環境事務所と協議して決定した。また、当該業務実施報告は、EPO中部のホームページにおいて公表している。

(ウ) 実施業務

第6期（令和3年～5年度まで）EPO 中部においては、以下の点に留意した。

- ① 地域循環共生圏づくりや SDGs 推進の支援にあたり、細やかな個別対応と、他の取組支援等への汎用化
- ② 独自または外部団体の指標ツールを活用するなどして、地域 SDGs 評価機能を構築
- ③ 多様なステークホルダーとの協働のためハブ機能を強化

(1) 業務実施計画（案）の作成

- ・事業目標・事業計画、及び業務実施計画の作成・公表
- ・定量的な達成目標（インプット・アウトプット）の設定

(2) 運営協議会等の設置・開催

- ・「ESD/EPO 運営会議」の設置・開催（オンライン、2 回程度）
- ・委員委嘱手続、連絡調整、会場手配・設営、当日の進行、議事録作成、旅費及び謝金の支払い等の事務手続

(3) 基本業務

①情報の収集・蓄積・発信に関する業務

- ア．ホームページの更新及び維持管理（月 2 回程度）
- イ．収集・整理・蓄積した情報の発信（月 1 回程度）
- ウ．リーフレット等を活用した情報発信

②相談対応・対話の場作り等

- ア．照会・相談対応、対応状況・内容の記録「相談対応票」（様式自由）の作成
- イ．対話の体制の構築（地域会合への参加・情報収集、講師依頼への対応）
- ウ．定例報告（業務日報、施設の運営・利用状況、相談対応票、EPO 中部が関わる審議会・委員会・検討会・会議等一覧（他の団体が主体のもの）等の翌月当初報告）

③施設の維持・管理

- ア．オフィスの防火・防災管理及び開錠・施錠管理
- イ．オフィス内の清掃作業含めた施設・設備の維持管理
- ウ．オフィス運営及び業務実施に必要な機材・消耗品等の確保

(4) 協働取組の促進のための業務

- ①地域ネットワークを活用した協働取組の推進（フォーラム開催：1 回、3 時間、30 名程度）
- ②遠隔地（北陸・信越）の協働コーディネーターと連携した実践的取組の実施（1 事例、2 回程度、各 2 時間程度、30 名程度）
- ③活動主体への活動の可視化支援とフィードバック（2 事例に「活動見える化プログラム」活用）
- ④活動主体等への情報・意見交換会の実施（協働コーディネーターによる情報・意見交換会：1 回、2 時間程度、10 名程度）
- ⑤ローカル SDGs／地域循環共生圏のためのグループワーキング（1 回、3 時間程度、20 名程度）

(5) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

①地域プラットフォームの環境整備支援等業務

- ・ 伴走支援（月 1 回以上の採択団体との連絡）、地域循環共生圏づくりに資する情報提供等
- ・ 年度当初に活動（継続）団体の事業目標及び年間計画などについてヒアリング、及びヒアリング結果と支援計画等を GEOC へ提出
- ・ 活動団体採択にかかわる意見照会への対応、制度設計への助言

②中間共有会の開催（管区内（ブロック）別で 1 回程度、2 日程度）

③地域循環共生圏プラットフォームステークホルダーミーティング業務

- ・ 環境整備団体の活動を推進するためのステークホルダーミーティングの後方支援

④GEOC が主催する会議等への参加

- ・ キックオフミーティング（1 回、都内、2 日程度、6 月）
- ・ 作業部会（2 回程度、1 回当たり 3 時間程度、都内）
- ・ 共有会（1 回、3 時間程度、オンライン）
- ・ 共生圏 PF 事業形成会議（1 回、3 時間程度、オンライン）
- ・ 成果共有会及びネットワーキングイベント（1 回、都内、2 日程度、3 月）

⑤事業化支援団体の活動の情報共有（事業化支援団体の打合せに年 3 回程度参加）

⑥卒業団体のフォローアップ調査

- ・ 卒業団体のオンラインヒアリングの実施（1 件程度）と GEOC への報告

⑦身近な自然資本の活用に関する意見交換会の開催（年 2 回、30 名程度）

⑧グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業

- ア. 情報交換会やワークショップ等の開催のための支援及び開催運営業務（4 回程度）
- イ. GEOC 開催事業検討会議への参加（1 回程度、3 時間程度）

(6) 地方 ESD 活動支援センター業務

①中部 ESD センターの運営・推進（第 6 期「中部地域 ESD 推進計画」に基づいた施策展開）

②ESD 活動に関するネットワークの構築

ア. ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催（1 回、半日程度）

- ・ ポスターの電子媒体及び紙媒体での制作、主たるステークホルダーへの送付
- イ. SDGs 学生サミットの開催（オンライン併設、1 回、半日程度、20 名程度）
- ・ 第 5 期作成ツールを活用

ウ. 地域 ESD 拠点等の ESD 活動の支援

- ・ 地域 ESD 拠点等との間で情報共有やイベント協力等の連携、ESD 活動の支援
- ・ ESD 実践者等への情報発信や調整等
- ・ 地域 ESD 拠点の登録手続における全国センターへの情報提供等

③全国 ESD センターとの連携協力の推進等

- ・ 地域 ESD 拠点への年次アンケートの実施支援、全国センター及び各地方 ESD 活動支援センター間での情報交換、情報共有、下記会議への出席
- ・ 作業部会（オンライン、2 回程度、各半日）
- ・ 全国・地方連絡会（オンライン、2 回程度、各半日）
- ・ ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（オンライン、1 回、1 日）

④自然資産等の活用による ESD 促進

- ・ 「自然資産を活かした地域・人づくり ESD ダイアログ」の開催（1 回、2 時間程度）
- ・ ジオパーク、世界遺産、世界農業遺産等の自然環境地域の中から選定し、国立公園等と関連づけた内容とする

- ⑤域内外の多様な主体の連携促進、交流の機会の提供
 - ア. 活動計画の作成（テーマ設定、中核実践者・講師等の選定）
 - イ. ノウハウの共有と推進に関する方策の検討
 - ウ. 交流者の参加募集
 - エ. 学び合いの実施：「学び合いの場」（2回）、「SDGs 社会教育研究会 WG」（3回）
 - オ. 実践活動
 - カ. 報告：全国フォーラムでの活動結果の報告
- ⑥「中部版 ESD ワークブック」の公表
- ⑦SDGs へ向けた ESD 推進のための教育現場等の実態把握と連携強化
 - ア. 専門家への包括的ヒアリング（2時間程度、1回、大学教授級1名）
 - イ. 教育部局、教育委員会、現場の教員等へのヒアリング（2時間、2回程度）
 - ウ. 中小企業の経営者等を対象としたヒアリング（2回程度）
- ⑧全国センターとの連携協力の推進等
 - ・第五次環境基本計画において提唱された「地域循環共生圏」を実現する人づくりに考慮し、全国センターと連携協力する

(7) ESD/EPO の行事を通じた行動の変容の把握

- ①行動変容の把握：代表的な主催行事後、参加コアメンバーへの簡易的ヒアリング（電話、メール等）を行い、今年度成果（行動の変容）を取りまとめる（6事例程度）
- ②地域循環共生圏及びローカル SDGs の実践状況等の評価
 - ・地域 SDGs 評価メニュー、プログラム等の情報収集
 - ・評価の試行的実践（2事例程度）

(8) 関係主体との連携及び協働に関する業務

- ①中部地方環境事務所との協働による円滑な運営の確保、密接な情報共有及び意見交換
 - ア. 事務所担当官と業務の責任者による定期的な打合せ（月1回程度）、日々の業務についての月次報告（様式自由）の作成・提出
 - イ. 外部評価委員会に必要な資料の作成等、第6期運営3か年の達成状況の自己評価
 - ウ. 中部地方環境事務所との連携による白書を読む会の企画協力（1回、3時間程度）、周知協力、当日の運営サポートなど
 - エ. 全国ユース環境活動発表大会への参画（1回程度、半日）、審査委員の選定・報告
 - オ. 記者発表を希望する行事がある場合に必要資料等の作成と事務所担当官への相談
- ②全国の地方 EPO・GEOC・ESD 活動支援センター（全国・地方）のネットワークの活用及び連携
 - ア. 全国事業に関わる業務：パートナーシップタスクフォース（1回）、全国 EPO 連絡会議（3回、都内2回、地方1回）への出席、及び関連会合への出席
 - イ. 地方 EPO ネットワークとの情報交換会：GEOC 主催・持続可能な地域づくりのための情報交換会に参加（1回、都内、2時間程度）

(9) 外部資金を活用した事業

(10) 成果物の提出

- ①四半期報告書の作成・提出
- ②第6期概要報告書の作成・提出
- ③年間報告書、及び概要版の作成・提出

(エ) 業務の実施概要 (2024年3月18日時点)

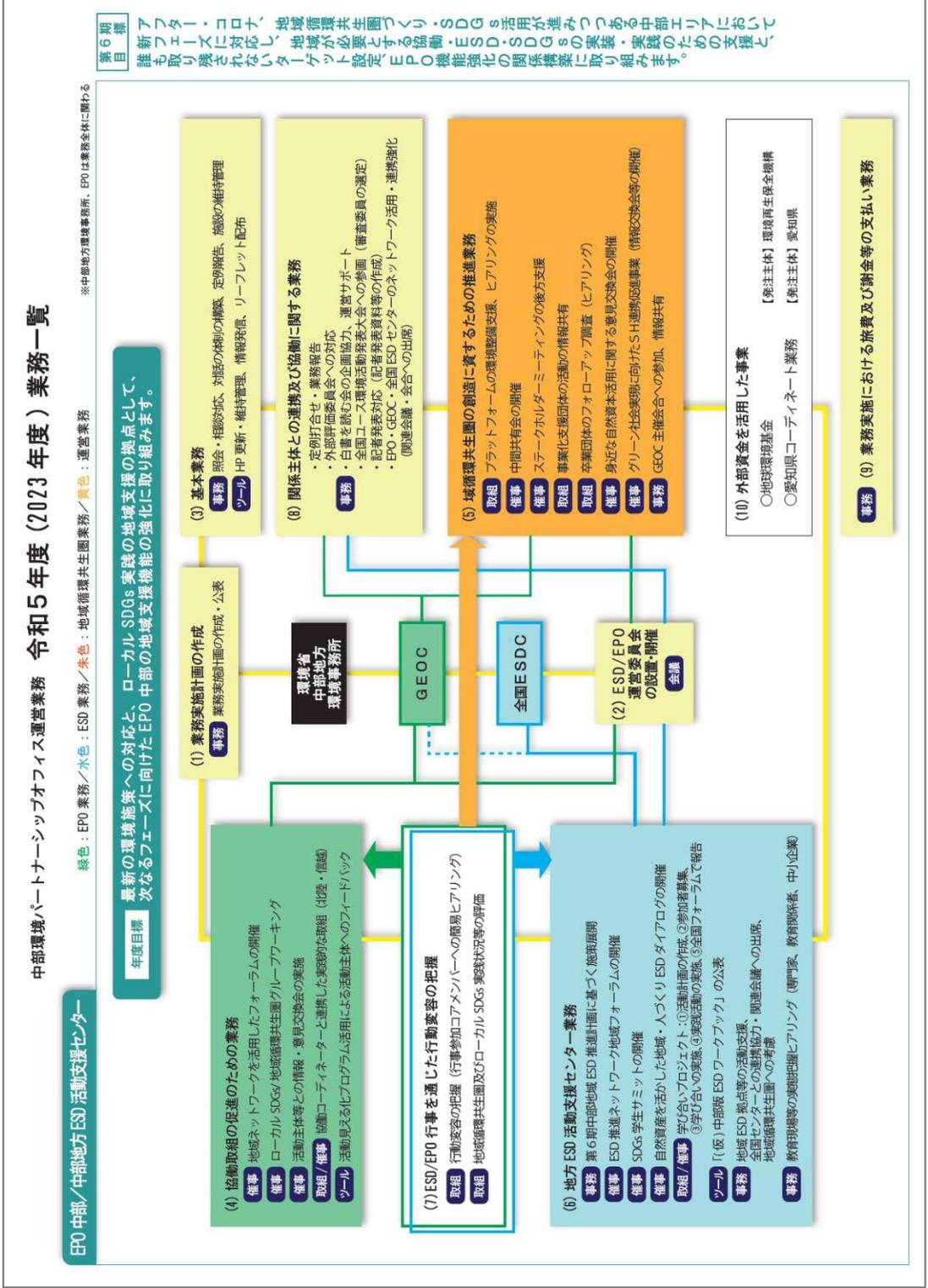
業務項目		実施・開催等の進行状況					
1	業務実施計画の作成	業務実施計画、達成目標の作成・公表	作成済み	→第1回運営委員会に諮問 ウェブサイト掲載			
2	運営会議	ESD/EPO運営委員会の設置・開催【オンライン、2回】	第1回:6/19実施 議事録公開	第2回:2/6実施 議事録公開			
3	基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	適宜実施	アクセス数(PV数):EPO:28,179件/ESD:11,249件		
		3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン配信、月1回)	毎月1回以上メルマガ発行			
		3-3	リーフレットの配布	約500部をイベント等で配布・配架	在庫がなくなり、2024年3月に300部増刷		
		3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	適宜実施	相談対応38事例/照会・相談対応等の延べ件数239件/電話・メール対応161件/講師招聘24件/業務打合せ:116件		
		3-5	定例報告	月次報告書の提出	来館利用件数:77件/来館者数:150人 事業実施日数:計249日		
4	協働取組の促進のための業務	4-1	地域ネットワークを活用したフォーラム開催【1回(3時間)】	2/16に地域循環共生圏フォーラムを三重県四日市市で開催			
		4-2	北信越の協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【2回(各2時間)】	長野県NPOセンター(協働コーディネーター山室氏)と連携	1/13長野市でワールドカフェ実施	2/4長野市芋井地区でローカルSDGsイベント実施	
		4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【2事例】	①長野県NPOセンターの取組チャートを作成、フィードバック	②PF丹南の取組チャートを作成、フィードバック		
		4-4	活動主体等との情報・意見交換会【1回(2時間)】	9/11に協働コーディネーター情報交換会を愛知県名古屋市で実施			
		4-5	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)】	11/6にローカルSDGs/地域循環共生圏セミナーを愛知県名古屋市で実施			
5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	プラットフォーム(PF2団体)支援:ヒアリング、月1回以上の連絡等	PF丹南:4/26にヒアリング実施	PF大町:4/27にヒアリング実施		
		5-2	PF2団体のステークホルダーミーティング開催の後方支援	PF丹南:2/11にミーティング実施支援	PF大町:2/19オンラインイベントのミーティング実施支援		
		5-3	中間報告会【1回(2日間)】	11/9-10に福井県丹南エリアで実施			
		5-4	事業化支援団体の活動の情報共有	①オンライン打合せに同席:5/18、7/11、9/13	②現地打合せに同席:8/28		
		5-5	環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業形成会議、成果共有会	キックオフM:6/7-8参加/共有会5/16出席	作業部会:①8/4、②2/9予定/事業形成会議:12/8出席	成果共有会:3/7-8 ※EPO中部は3/7出席	
		5-6	卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング【1件】	12/15にPF小布施(一般社団法人スマート・テロワール協会)をヒアリング →ヒアリング結果をGEOCへ提出			
		5-7	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回】	①信州の森フォーラムを12/19開催	②企業の生物多様性勉強会を1/26開催		
		5-8	SH連携促進事業【4回】	①鳥羽会合1/16、②中部カンファレンス2/13、③奥三河会合2/14参加・提案、④知多勉強会3/11実施済み			
		5-9	GEOC主催事業検討会議【1回】への参加	2/29会議に出席			

業務項目		実施・開催等の進捗状況				
6	中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1	第6期ESD推進計画に基づく施策	ESD推進計画(昨年度作成)を基に、適宜実施		
	6-2	地域ESD拠点等の活動支援	適宜実施			
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	9/21にハイブリッド方式(会場:愛知県名古屋)で地域ESD拠点登録団体の会合として実施			
	6-4	SDGs学生サミット【1回(半日)】、チェックリスト等の活用	SDGs活動に取り組む6大学の学生チーム、SDGs未来都市3自治体が登壇する会合を2/10開催			
	6-5	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2時間)】	11/18-19に長野県伊那市(南アルプスジオパーク)で中部のジオパーク関係者が集う会合を実施			
	6-6-1	交流機会提供:ア)活動計画の作成、イ)ノウハウ共有、ウ)交流者の参加募集	ア)活動計画を作成して社会教育WGに諮問して確定	イ)ノウハウ共有:6-10作業部会に参加・議論	ウ)チラシを作成して広報展開	
	6-6-2	エ)学び合いの実施;学び合いの場【2回】、SDGs社会教育WG【3回】、オ)実践活動、カ)全国フォーラム結果報告	エ)学び合いの場:8/29、9/4開催、研究会:6/14、10/24、11/24実施	オ)実践活動:11/25に愛知県常滑市で実践セミナーを開催	カ)12/9全国フォーラムに参加し、実施結果を報告	
	6-7	「(仮)中部版ESDワークブック」の作成・公表	6-6-2④で協議・検討しつつ作成、完成	印刷、ウェブサイト公開		
	6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1名(2時間)】/教育関係者【2回(各2時間)】/中小企業経営者【2回】	専門家:金沢大学・加藤先生に6/15ヒアリング実施	教育関係者:①高山工業高10/28、②飯田女子高12/1ヒアリング実施	中小企業:①ALSO6/28/②おとうふ石川7/25ヒアリング実施	
	6-9	全国センターとの連携協力(地域循環共生圏への考慮)	適宜実施			
6-10	全国ESDセンターとの連携;作業部会【2回】、全国連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】に出席・参加	作業部会:①6/21出席、②11/15出席	全国連絡会:①5/31出席、②1/24出席	全国フォーラム:12/9登壇・参加		
7	行動変容の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	①SH連携:鳥羽会合、②長野ワールドカフェ、③地域循環共生圏フォーラムin北勢、④ESDダイアログ、⑤実践セミナー、⑥社会教育WGの関係者をヒアリング		
	7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	①長野県NPOセンターの活動評価を作成・フィードバック	②PF丹南の活動評価を作成・フィードバック		
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	月1回以上の定例打合せを計13回実施		
	8-2	外部評価委員会への対応	業務報告資料、自己評価シートを作成し、中部地方環境事務所へ提出			
	8-3	白書を読む会の企画、広報、運営サポート協力【1回(3時間)】	7/1開催・白書を読む会を企画・広報展開・運営を実施			
	8-4	全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	審査委員の選定:杉浦委員を推薦	中部大会:12/10出席		
	8-5	記者発表等報道対応	12/19開催・信州の森・里山フォーラムについて中部地方環境事務所から長野県政記者クラブへリリース			
	8-6	GEOC主催PSTF会合【1回】/全国EPO連絡会議【3回】/情報交換会【1回】への参加・出席	PSTF会合:8/4出席	全国連絡会:①5/30、②10/18-19、③1/23-24出席	情報交換会:12/22出席	
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	適宜実施				
10	外部資金を活用した事業;地球環境基金/愛知県環境学習コーディネーター業務	地球環境基金:10/31説明会実施	相談8件・コーディネーター7件実施			
	成果物の提出:第1~3四半期報告書、第6期概要報告書、年間報告書(及び概要版)	四半期報告書:①7/14、②10/20、③1/26提出済み	第6期概要報告書:12/22提出済み	年間報告書:3/29納品		

1 業務実施計画の作成

ア 作成した令和5年度業務実施計画

①業務概要



②業務スケジュール

2023年度業務スケジュール案

仕務事項項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 作成	業務実施計画、達成目標の作成・公表	原、富田	作成		運営委員会への提示	修正	公開							
	ESD/EPO/運営委員会の設置・開催(オンライン、2回)	清本、原、富田、小松	資料作成、開催準備・調整		運営委員会1開催	開催結果とりまとめ					資料作成、開催準備・調整		運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開
2 運営会議	3-1 ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松		月2回以上の更新を適宜実施										
	3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(メールマガジン配信、月1回)	小松		月1回以上の配信を適宜実施										
	3-3 リーフレットの配布	富田、小松		イベント等で配布										
	3-4 照会・相談対応、対話の体制の構築、施設の維持管理	清本、原、富田、小松		適宜実施し、記録及び報告										
	3-5 定例報告	富田、小松		毎月初めに報告資料を編纂・作成、提出										
3 基本業務	4-1 地域ネットワークを活用したフォーラム開催(1回(3時間))	清本、富田		各連携主体にヒアリング										
	4-2 北信越の協働ユニバーシティの連携による実践的な取組(2回(各2時間))	清本、原		企画案等を作成										
	4-3 活動主体へのフットバック(活動の見える化プログラムの活用)(2事例)	原												
	4-4 活動主体等との情報・意見交換会(1回(2時間))	清本、富田												
	4-5 ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング(1回(3時間))	清本、富田												
4 協働取組の促進のための業務	5-1 プラットフォーム(PF2団体)支援:ヒアリング、月1回以上の連絡等	富田		各PFにヒアリング実施										
	5-2 PF2団体のステークホルダーミーティング開催の後方支援	富田		各PFにヒアリング実施										
	5-3 中間報告会(1回(2日間))	清本、富田		実施日・場所・方法等について関係者と調整										
	5-4 事業化支援団体の活動の情報共有	清本、富田		必要に応じて運営参加、情報共有										
	5-5 環境省・GEOC主催会合への参加:キックオフ成果共有会(2回)、共有会、事業形成会議、成果共有会	清本、富田		運営参加										
5 地域循環共生圏の推進業務	5-6 卒業団体のフォローアップ調査:ヒアリング(1件)	富田												
	5-7 身近な自然資本の活用に関する意見交換会(2回)	清本、富田		関係主体へのヒアリング調整等										
	5-8 SH連携促進事業(4回)	清本、富田												
	5-9 GEOC主催事業検討会議(1回)への参加	清本、富田		運営参加										

2023年度業務スケジュール案

仕組業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6-1	第6期ESD推進計画に基づく施策	原	第6期中部地域ESD推進計画に基づき適宜実施											
6-2	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応											
6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催(1回(半日)、ポスター作成)	清本、原、小松	企画案作成											
6-4	SDGs学生サミット(1回(半日)、チェックリスト等の活用)	清本、原、小松	企画案作成											
6-5	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ(1回(2時間))	清本、原、小松	企画案作成											
6-6	交流機会提供、活動計画の作成、交流者の参加事業、全国フォーラム結果報告	原、小松	①活動計画の作成											
6-6-2	学び合いの実施、学び合いの場(2回)、SDGs社会教育WG(3回)、実践活動	清本、原、小松	④WG 1											
6-6-2	学び合いの実施、学び合いの場(2回)、SDGs社会教育WG(3回)、実践活動	清本、原、小松	④WG 1											
6-7	「仮」中部版ESDワーキングの作成・公表	原	関係者との調整											
6-8	教育現場の実態把握と連携強化:専門家(1名(2時間))/教育関係者(2回(各2時間))/中小企業経営者(2回)	清本、原	④WG 1											
6-9	全国センターとの連携協力(地域循環共生圏への考慮)	清本、原	適宜実施											
6-10	全国ESDセンターとの連携:作業部会(2回)、全国連絡会(2回)、全国フォーラム(1回)出席・参加	清本、原	適宜出席・参加											
7	行動変容の把握	清本、原、富田												
7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに【6事例】)	清本、原、富田												
7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原												
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	清本、原、富田												
8-1	事務所担当者と業務の責任者で定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松	適宜実施(月1回以上)の打合せ、月次報告)											
8-2	外部評価委員会への対応	原、富田												
8-3	白書を読む会の企画、広報、運営サポート協力(1回(3時間))	富田												
8-4	全国コース中部大会に参画(1回)、審査委員の選定	清本												
8-5	記者発表等報道対応	原、富田												
8-6	GEOG主催PSITF会合(1回)/全国EPO連絡会議(3回)/情報交換会(1回)への参加・出席	清本、富田												
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗												
10	外部資金を活用した事業:地球環境基金/認知環境学習成果物:再生保全機構、認知環境学習プラザと連携して適宜実施	清本、小栗、小松、服部												
	成果物の提出:第1~3四半期報告書、年間報告書(及び経費帳)	原、富田、小松												

③定量的な達成目標（インプット・アウトプット）の設定

EPO中部令和5年度事業アウトプット目標等一覧		アウトプット(結果)		アウトプット計画		アウトカム(予想される効果)		備考	
業務内容(イベン/オンライン/オフライン)	業務内容(イベン/オンライン/オフライン)	インプット(仕組、計画)	アウトプット(結果)	アウトプット計画	アウトカム(予想される効果)	アウトカム(予想される効果)	備考	備考	備考
1 業務実施計画の作成	業務実施計画の作成(公表)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
2 運営会議	運営会議(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
3 基本業務	3-1 ホームページ(EPO)の更新(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	3-2 運営会議(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	3-3 リンクアップの配布	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	3-4 関係・情報対話、対話の体制の構築、実施の維持管理	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	3-5 定例会議	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
4 協働体間の連携	4-1 地域ネットワークを活用したフォローアップ(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	4-2 北信越の協働コーディネーターとの連携による定例会議(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	4-3 協働体主体のフォローアップ(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	4-4 協働体主体との情報・意見交換(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	4-5 ワーキング(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
5 地域連携・事業推進	5-1 プラットフォーム(PF)2団体(2回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-2 PF2団体のメンバーシップ(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-3 中間報告会(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-4 普及化支援団体の活動の情報共有	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-5 関係者、GEOC本部会合への参加、ネットワーキング(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-6 協働体間のフォローアップ(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-7 身近な自然資源を活用した地域づくり(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-8 SH(持続性推進)4回	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援
	5-9 GEOC主催事業検討会(1回)	外部関係者との意見交換(必要に応じて)	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援	調査、研究、作成、支援

イ 業務実施計画の公表

- 作成した令和5年度業務実施計画については、ESD/EPO 運営委員会（第1回会議）に諮ったうえで、EPO 中部ウェブサイトに掲載、公開した。
- 中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトについても、EPO 中部ウェブサイトへの直リンク見出し記事を掲載した。

【EPO 中部ウェブサイト】

各期事業計画と各年度の業務実施計画

■ 今期・第6期（2021～2023年度）の計画

2023年度（令和5年度）業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧
2022年度（令和4年度）業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧
2021年度（令和3年度）業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧
第6期3カ年度の事業計画	▶PDFファイルで閲覧

■ 第5期（2018～2020年度）の計画

2020年度 業務実施計画等	▶PDFファイルで閲覧
2019年度 業務実施計画等	▶PDFファイルで閲覧
第5期3カ年度の事業計画と2018年度業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧

■ 第4期以前の計画

平成29年度 業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧
平成28年度 業務実施計画	▶PDFファイルで閲覧

【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

センター概要・お知らせ

2023.06.16 お知らせ
中部地方ESD活動支援センターの2023年度業務実施計画
2023年度（令和5年度）の当センター及びEPO中部の業務実施計画を掲載しました。
（※EPO中部ウェブサイトへリンク）

当センターについて

センター概要
アクセス・開館時間
お知らせ
ESD/EPO運営委員会

事業報告
SDGsチェックリスト
SDGsワークショップ

イベント&ニュース
表彰・アワード

取材レポート

2 ESD/EPO 運営委員会の設置・開催

ア 委員について

- 運営委員は、令和3年度に選定した次表の9名の委員に対し、継続して令和5年度の委員としての委嘱確認を行った。

【委員名簿】

No.	分野等	地域	氏名	所属先	役職
1	学識者／ESD	東海	伊藤 恭彦	名古屋市立大学	副学長
2	学識者／学校教育	北陸	加藤 隆弘	金沢大学大学院教職実践研究科	准教授
3	学識者／地域整備計画	東海	加藤 義人	岐阜大学工学部	客員教授
4	協働コーディネーター	北陸	堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)	常務理事／事務局長
5	企業／福祉	東海	杉浦 真理子	株式会社アクト	代表取締役
6	NPO／地域づくり	東海	田辺 友也	認定NPO法人まちづくりスポット	専務理事
7	自治体	東海	濱田 一多朗	尾鷲市政策調整課	調整監(SEAモデル事業推進担当)
8	企業／環境学習	北陸	水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所	代表
9	学識者／自然生態系	信州	水谷 瑞希	信州大学教育学部 附属志賀自然教育研究施設	助教

イ 会議の実施

(ア) 第1回会議

①日時

- 2023年6月16日(金) 13:00～16:00

②開催方法

- オンライン会議 (Webex ミーティング)



③出席者

- 運営委員：8名出席 ※加藤隆弘委員が所用により欠席
- 中部地方環境事務所環境対策課：縄野課長補佐
- 事務局 (EPO 中部)：福井理事長、清本事務局長、原、富田、小松

④議事次第

1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
2. 本委員会設置要領について (変更なし)
3. 令和5 (2023) 年度の EPO 中部運営業務の実施計画について
4. EPO 業務について
 - (1) EPO 業務事務局案の説明
 - (2) 意見交換
5. ESD 業務について

- (1) ESD 業務事務局案の説明
- (2) 意見交換
- 6. その他／第2回委員会の日程調整等
- 7. 閉会

⑤会議資料

- 資料1：ESD/EPO 運営委員会設置要領
- 資料2：令和5（2023）年度業務実施計画
- 資料3：EPO 業務事務局説明資料
- 資料4：ESD 業務事務局説明資料
- 参考資料1：多様な主体の連携促進、交流機会提供 令和5年度活動計画

(イ) 第2回会議

①日時

- 2024年2月6日（火）12：00～15：00

②開催方法

- オンライン（Webex ミーティング）



③出席者

- 運営委員：9名 ※加藤隆弘委員が所用のため14時で退席。
- 環境省中部地方環境事務所環境対策課：曾山課長、縄野課長補佐
- 事務局（EPO 中部）：福井理事長、清本、原、富田、小松

④議事次第

1. ご挨拶 環境省中部地方環境事務所
2. ESD 業務について
 - (1) ESD 業務実施報告資料の説明
 - (2) 意見交換
3. EPO 業務について
 - (1) EPO 業務実施報告資料の説明
 - (2) 意見交換
4. 閉会

⑤会議資料

- 資料1：EPO 業務実施報告資料
- 資料2：ESD 業務実施報告資料
- 参考資料1：ESD ワークブック
- 参考資料2：水谷委員の事前の質問と提言
- 参考資料3：学び合いプロジェクト可視化マトリクス
- 参考資料4：ESD・気候変動教育の推進について
- 参考資料5：第2期 ESD 国内実施計画（概要）

ウ 会議実施結果（議事概要）の公開

- 第1回及び第2回運営委員会の終了後に、会議の議事概要を作成し、各委員に確認した上で、EPO 中部ウェブサイトにて公開した。（中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトにも EPO 中部ウェブサイトへの直リンク見出しを掲載した。）

【EPO 中部ウェブサイト】

運営委員会の設置

EPO中部は、多様なステークホルダー及び有識者で構成される運営委員会を年2回開催し、ESD/EPO業務についての検討、協議、評価を行っています。

また、運営委員が提案する協働取組や、各地域で実施すべき協働取組を、EPO中部の機能を使って実施するスキームとなっています。

※第5期（2020年度）までは「EPO中部運営会議」「中部地方ESD活動支援センター企画運営会議」をそれぞれ設置していました。

2021年度（令和3年度）ESD/EPO運営委員（氏名五十音順、敬称略）

- 伊藤 恭彦（名古屋市立大学 副学長）【委員長】
- 加藤 隆弘（金沢大学大学院教職実践研究科 准教授）
- 加藤 義人（岐阜大学工学部 客員教授）
- 堺 勇人（一般社団法人環境市民プラットフォームとやま 常務理事／事務局長）
- 杉浦 真理子（株式会社アクト 代表取締役）
- 田辺 友也（認定NPO法人まちづくりスポット 専務理事）
- 瀧田 一多朗（尾鷲市政策調整課 調整監(SEAモデル事業推進担当)）
- 永上 聡子（アルマス・バイオコスモス研究所 代表）
- 水谷 瑞希（信州大学教育学部附属志賀自然教育研究施設 助教）

規約

[第6期 ESD/EPO運営委員会設置要領](#)

第5期（2020年度／令和2年度）以前の規約

議事録

第6期

- 【2023（令和5）年度】
- [2023年度（令和5年度）第2回ESD/EPO運営委員会議事録](#)
- [2023年度（令和5年度）第1回ESD/EPO運営委員会議事録](#)
- 【2022（令和4）年度】
- [2022年度（令和4年度）第2回ESD/EPO運営委員会議事録](#)
- [2022年度（令和4年度）第1回ESD/EPO運営委員会議事録](#)

エ 運営委員との業務における連携（主催イベントへの登壇・参画等）

- 運営委員との連携・協力して開催した主催イベント・会合等は下記の通りである。

項目	主催イベント・会合／実施業務	関係した運営委員
EPO 主催 イベント	9月1日開催 EPO 中部・協働コーディネーター情報交換会	堺委員が協働コーディネーターとして出席
地域循環共生圏づくりへの支援	11月9日開催 中部ブロック中間共有会	加藤義人委員、水上委員が出席
ESD センター 主催イベント	9月21日開催 ESD 推進ネットワーク中部地域フォーラム	加藤隆弘委員が登壇、堺委員が地域 ESD 拠点登録団体として参加、水谷委員がコメンテーターとして参加
	11月18-19日開催 ジオパークを活用した ESD ダイアログ	水谷委員が登壇
	2月10日開催 SDGs 学生サミット	伊藤委員長が登壇、堺委員・田辺委員・水上委員がファシリテーター登壇
ESD 学び合い プロジェクト	8月29日開催・学び合いの場① 9月4日開催・学び合いの場② 11月25日開催・実践活動（実践セミナー） SDGs 社会教育ワーキング（全3回）	堺委員、水上委員が登壇・運営、その他企画・開催協力
	「ESD ワークブック」の作成（SDGs 社会教育ワーキングでの検討）	堺委員、水上委員がワーキング委員として参画

3 基本業務

(1) 情報の収集・蓄積・発信に関する業務

ア ホームページの更新及び維持管理

(ア) 更新・維持管理状況

- EPO 中部では、環境保全、協働の推進、ESD、SDGs 等に関わる情報を収集・整理・蓄積し、行政機関の動き、公募・助成金情報、イベント情報等の発信を行っている。
- 収集した情報は、EPO 中部及び中部地方ESD活動支援センターの各ウェブサイトにおいて、次表の通り、記事の投稿・掲載・更新を行った。

【EPO 中部 (<http://www.epo-chubu.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ						
		EPO 中部のお知らせ	皆さんのお知らせ	スタッフのあれこれ	EPO 中部とは	EPO 中部がお手伝い	お役立ちツール	その他(メルマガ掲載等)
4月	79	4	71	1	0	1	1	1
5月	70	2	64	1	0	1	1	1
6月	51	3	44	1	1	0	0	2
7月	57	3	52	1	0	0	0	1
8月	36	2	32	1	0	0	0	1
9月	60	5	53	1	0	0	0	1
10月	50	2	46	1	0	0	0	1
11月	45	4	38	1	0	0	0	2
12月	34	5	27	0	0	0	0	2
1月	43	7	32	2	0	0	0	2
2月	56	1	53	1	0	0	0	1
3月	25	2	20	0	1	0	1	1
計	606	40	532	11	2	2	3	16

【中部地方ESD活動支援センター (<http://chubu.esdcenter.jp>) 更新実施表】

月	更新回数・計	更新コンテンツ						
		センター概要	事業報告	イベント&ニュース	取材レポート	コンテンツ紹介	地域ESD拠点ピックアップ	その他
4月	33	0	0	26	0	5	1	1
5月	45	0	0	41	0	3	1	0
6月	29	1	0	25	0	2	0	1
7月	19	0	0	18	0	0	0	1
8月	17	0	0	15	0	0	0	1
9月	28	0	0	25	0	0	3	0
10月	16	1	0	14	0	0	1	0
11月	24	0	0	22	0	1	1	0
12月	24	0	0	20	0	0	1	3
1月	23	0	0	19	0	0	2	2
2月	18	0	0	13	0	0	4	1
3月	9	0	2	5	0	0	1	1
計	285	2	2	244	0	11	15	11

※ いずれも「3月」の数値は3月18日時点で集計を行った。

(イ) ウェブサイトのアクセス数（ページビュー数）

【EPO 中部ウェブサイト】

※ 2020 年度に実施した EPO 中部ウェブサイトのリニューアルの際に、アクセス数の照会元を Google アナリティクスに移行した。（従来の照会元であるサーバー会社によるアクセスレポートが特殊なシステムでページビュー数を集計していたため、一般的なページビュー数を把握できる Google アナリティクス参照に変更した。）

照会元	Google アナリティクス			参考) サーバー会社のアクセスレポート※				
年度	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017	
4月	2,440	2,133	3,310	24,015	66,930	59,319	19,311	32,869
5月	2,374	2,197	2,965	16,148	56,664	30,280	18,382	37,951
6月	2,942	1,983	3,574	21,314	61,297	29,150	20,060	27,827
7月	2,324	2,125	2,579	29,566	52,720	34,314	18,763	19,752
8月	1,808	2,387	2,203	25,428	43,742	38,479	17,688	25,807
9月	1,752	1,883	1,923	24,902	43,419	72,087	14,795	34,714
10月	2,029	2,413	4,015	34,750	42,768	75,127	16,176	24,051
11月	2,474	2,873	2,791	48,487	38,630	102,551	16,289	18,034
12月	2,745	2,852	2,271	45,615	35,352	182,209	31,808	23,287
1月	3,077	3,911	2,132	65,535	23,878	107,374	39,694	31,568
2月	3,114	3,075	2,800	65,552	14,677	61,384	21,378	35,860
3月	1,100	3,302	1,622	74,440	21,593	67,883	44,972	23,308
計	28,179	31,134	32,185	475,752	501,670	860,157	279,316	335,028

【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト】

照会元	Google アナリティクス						
年度	2023	2022	2021	2020	2019	2018	2017
4月	938	1,057	1,115	1,165	618	595	未開設
5月	997	1,030	1,368	648	828	857	未開設
6月	890	1,026	1,324	1,620	955	1,301	未開設
7月	1,184	1,025	1,272	1,164	832	795	684
8月	1,326	1,331	811	827	1,111	1,144	298
9月	1,149	963	872	797	1,232	818	295
10月	902	775	1,463	1,179	1,192	904	366
11月	997	949	1,240	950	1,064	1,085	325
12月	606	761	1,302	1,420	1,139	879	287
1月	724	623	1,052	1,183	841	841	362
2月	1,034	861	1,025	1,080	1,181	641	1,343
3月	502	337	731	1,099	1,258	752	897
計	11,249	10,948	13,575	13,132	12,251	10,612	4,857

※ いずれも「3月」の数値は3月18日時点のデータで集計を行った。

イ メールマガジンの作成及び発行

- 収集した公募・助成金情報、イベント情報等を整理し、毎月第 2 火曜日発行のメールマガジンに掲載し、次の通り、定期配信を行った。
- なお、発行済みメールマガジンのバックナンバーは、EPO 中部ウェブサイトに掲載しており、閲覧が可能である。<https://www.epo-chubu.jp/mail-magazine>

月	号	発行日	発行部数	記事数・計	掲載記事数				
					冒頭部※	イベント 関連	ツール・コン テンツ	助成金・ 表彰等	その他
4月	166号	4/11	748	24	1	7	5	7	4
5月	167号	5/9	750	30	0	13	5	8	4
6月	168号	6/13	753	36	4	12	3	14	3
7月	169号	7/11	763	30	1	13	2	12	2
8月	170号	8/8	757	35	2	13	0	16	4
9月	171号	9/12	758	31	2	12	3	13	1
10月	172号	10/10	754	31	5	15	2	9	0
11月	173号	11/14	752	29	5	10	2	12	0
12月	174号	12/12	752	31	4	12	3	12	0
1月	175号	1/9	746	24	4	11	2	6	1
2月	176号	2/13	744	27	5	15	1	6	0
3月	177号	3/12	721	25	6	7	2	8	2
計				353	39	140	30	123	21

※「冒頭部」の記事は、中部地方環境事務所及びEPO中部の主催イベント等のお知らせ記事となっている。

ウ リーフレットの配布

- 年度当初に在庫としてあった約 200 部の EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターのリーフレットを、業務関係者との顔合せ、講師等として招聘されたイベント・会合、ブース出展、相談・照会対等の際に配布したほか、EPO 中部オフィスへの来館者用に配架を行った。（※リーフレットは 2021 年度作成原稿を引き続き使用。）
- 2023 年 8 月に在庫がなくなったことから 300 部を増刷し、さらに 2024 年 2 月末までに在庫が全てなくなり、今年度内に計約 500 部を配布した。また、2024 年 3 月にも 300 部増刷した。

(2) 相談対応・対話の場づくり等

- EPO 中部もしくは中部地方 ESD 活動支援センターへの相談に対し、面談打合せや資料・情報収集、マッチング作業、連絡・調整などの対応を行った。その照会・相談等の案件数は、次表の通りである。

※ 以降の「3月」の件数は、いずれも 3月 18日時点で集計を行った数値である。

【照会・相談・打合せ対応件数】

区分	ア 照会・相談対応						イ 対話の体制の構築		ア+イ
	① 相談に対し支援対応等を行った案件の事例数※ ₁	照会・相談対応等の延べ件数 (左記①案件事例への対応延べ件数も含む)	※ ₂			③ メール・電話による相談(広報依頼等)延べ件数※ ₂	(ア) 会議・セミナー等 地域活動への招聘	(イ) その他打合せや地域主体との意見交換等	対応件数 総計
			来館件数	資料配架依頼等	会議利用				
4月	7	22	11	6	5	11	1	7	30
5月	2	17	5	4	1	12	1	14	32
6月	5	16	6	4	2	10	4	10	30
7月	6	22	10	6	4	12	2	12	36
8月	5	31	12	7	5	19	1	12	44
9月	1	18	7	3	4	11	1	9	28
10月	1	26	7	3	4	19	1	11	38
11月	0	20	3	1	2	17	3	5	28
12月	3	25	7	2	5	18	2	10	37
1月	2	15	2	1	1	13	3	14	32
2月	4	22	7	1	6	15	4	10	36
3月	2	5	1	0	1	4	1	0	6
計	38	239	78	38	40	161	24	116	379

※1) 事例件数: 最初の連絡から対応終了までの(その間の連絡・打合せ等を含めた)案件ごとにカウントした数となっている。

※2) 延べ件数: 同じ案件・用件での来館、メール・電話等であっても、個別に回数をカウントした数となっている。

ア 照会・相談対応

① 相談に対し(広報協力以外の)支援対応等を行った案件

- 相談に対して支援対応等を行った案件数・事例数は下記の通りである。

【相談件数の合計、相談方法別件数】

	相談件数・計	相談方法			
		電話	メール	来所	その他
4月	7	3	3	1	0
5月	2	1	0	0	1
6月	5	1	2	1	1
7月	6	1	1	1	3
8月	5	1	1	1	2
9月	1	0	0	1	0
10月	1	0	1	0	0
11月	0	0	0	0	0
12月	3	1	0	1	1
1月	2	0	1	0	1
2月	4	2	1	1	0
3月	2	0	2	0	0
計	38	10	12	7	9

【相談主体別の相談件数】

	相談主体の分類											
	学校・教育機関	大学関係	自治体	その他行政機関	企業	業界団体等	NPO・NGO	協同組合	メディア	その他事業主体	独立行政法人等	その他
4月	0	1	2	1	1	0	2	0	0	0	0	0
5月	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
7月	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1
8月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1
9月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
1月	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0
3月	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
計	1	5	9	1	7	0	5	0	0	6	0	4

【相談に対し EPO が行った支援内容の件数】

	EPO による支援内容分類								
	SDGs の概説・事例紹介等	講師等人材紹介	教材・ツールの紹介・提供等	環境省事業・EPO 業務の問合せ回答	その他情報の提供	ESD・授業等教育関係の個別対応	イベント・会合ほか事業の企画運営	後援等名義使用	その他
4月	0	2	0	1	0	1	0	1	2
5月	1	0	0	0	0	0	0	0	1
6月	2	0	1	1	0	1	0	0	0
7月	1	1	0	0	3	0	1	0	0
8月	0	1	0	1	0	1	1	0	1
9月	0	0	0	0	0	0	1	0	0
10月	0	0	0	0	0	1	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	1	1	0	1
1月	1	0	0	0	0	0	0	0	1
2月	0	0	1	0	2	0	0	0	1
3月	0	1	0	0	1	0	0	0	0
計	5	5	2	3	6	5	4	1	7

【具体の相談内容とEPOによる対応内容】

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
1	4月3日	自治体	・座談会に登壇してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 職員派遣を前提に内容検討のため来所説明を当方より依頼。 4/5に来所、内容を協議。6/11PM開催の講座のうち前半座談会への登壇了承。 5/11オンライン打合せを実施 6/11座談会実施 	参加者へのメッセージの依頼があり、300字の原稿を送付した。
2	4月10日	企業	・PF事業の新聞記事作成にあたり、中部の事例について情報交換したい。	<ul style="list-style-type: none"> 4/10に電話で依頼があり、後日に担当者と日程調整の連絡のやり取りを行った。 4/18に意見・情報交換を実施。先方から、作成する新聞記事の掲載紙(2024年2月から4回連載予定)等について教えていただき、EPOからはPF小布施、PF七尾についての取組内容、経緯、担当者・連絡先等に関する情報提供と、関連資料の提供等を行った。 	-
3	4月18日	自治体	・5/31シンポのコーデイナー登壇について打合せしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 4/19来所、他の登壇者等の内容について共有打合せ。 5/29当日の進行の打合せ。 	-
4	4月18日	大学関係	・7/12に大学院の授業でローカルSDGsの話題提供してほしい。	<ul style="list-style-type: none"> 依頼を了承。詳細は別途打合せ。 	-
5	4月20日	NPO・NGO	・複数の地域ESD拠点が共催するイベントの後援依頼をしたいので教えてください。	<ul style="list-style-type: none"> 全国センターの窓口と申請方法についてメール連絡。 	-
6	4月21日	その他行政機関	・例年行っている愛知県ユネスコスクール支援会議の委員にお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承、委員として参加 日程調整の結果6/9に開催決定 	-
7	4月24日	NPO・NGO	・昨年度も実施した高校生のインターン受け入れについての依頼。	<ul style="list-style-type: none"> 4/24に電話で依頼があり、同日にメールで依頼書が送付されてきた。中部地方環境事務所に確認のうえ、受入可能と回答。 5/24先方が来館して打合せを行い、実施要項等について協議・確認を行い、受入日程(計4日間)を設定した。 7月に受け入れ学生が決定したとの連絡あり。 学生たちは、8/21:一日目にオリエンテーション実施。8/23:二日目にアサヒ飲料主催のSDGsフォーラムに参加し、取材レポートを作成。8/29:三日目に学び合い②を聴講、感想レポートを作成。8/30:四日目にEPOにて内勤し、二日目、三日目のレポート記事を作成。 5/8に電話、メールで依頼あり。 5/15に来館して打合せ。ブース出展にあわせて、弁論大会講評も追加依頼あり。 5/29正式に出展申込を申請。 8/23イベント当日、ブース出展、弁論大会講評に対応。高校生インターンによるほかの学生ブース取材等も実施。 	-
8	5月8日	企業	・SDGsフォーラムへの出展依頼。	<ul style="list-style-type: none"> 先方からの借用資料の返却に合わせ、意見交換。SDGs指標物語について説明。 名古屋市のSDGs事業で、チェックリストや見える化Pを用いて分析を行っているとのことで高評価をいただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ツールの活用事例について共有を希望した結果、様々な事例を受領。 公開可との言を頂く。
9	5月25日	自治体	・SDGs評価についての意見交換		

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
10	6月1日	企業	<ul style="list-style-type: none"> 企業から、新入社員研修でのSDGs講座等についての実施支援の依頼相談があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 3月末にEPO九州を紹介があり、先方とオンライン打合せを実施。6/28予定の新入社員研修でのSDGs理解支援の依頼があった。 6/11に改めてメール連絡があり、EPOへ来訪されての打合せを設定。 6/12打合せの結果、チェックリストを用いた講座を開催することで調整。 6/28SDGs講座実施 	—
11	6月15日	その他	<ul style="list-style-type: none"> 全国地球温暖化防止活動推進センター主催の中部ブロック会議でEPO中部の紹介をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 7/7開催のブロック会議の対応を了承。 	—
12	6月18日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 四日市市での気候変動の講演講師を引き受けていただけられないかとの依頼あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。10/24、11/4を候補日として先方と調整。 日程調整がつかず、今回は断念。 	—
13	6月22日	その他	<ul style="list-style-type: none"> 温暖化防止連絡会議で気候変動教育の話題提供してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承。 	—
14	6月28日	企業	<ul style="list-style-type: none"> 新入社員研修に使えるSDGsカードゲームはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 金沢工業大学のカードゲーム、無料ダウンロード版を紹介した。 	—
15	7月7日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素チャレンジカップの応募団体を紹介してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 長野県適応センターのプロジェクトで行った辰野高校の探求学習の事例を紹介した。 	—
16	7月10日	その他	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動フォーラムの企画を手伝ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 愛知県気候変動適応センターとのコラボレーションフォーラムについて企画を提案。 2024年11月11日開催決定。 7/26に適応センターとの打合せに参加。ディスカッションのコーディネーター役を行うことを了承。 8/23名古屋大学坪木先生訪問、企画内容説明。 	—
17	7月16日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> EPO中部の取組について紹介してほしい。意見交換をオンラインでお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 対応を了承8/8にオンラインミーティングを設定。 オンラインミーティングにて、情報提供、意見交換。 	—
18	7月12日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> 松本大学健康首都会議の環境セッションの企画を手伝って貰えないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 里山ウェルネスの事例を紹介し、連絡を仲立ちした。 	—
19	7月18日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素の施策検討について相談に乗ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて来所いただき情報交換を行うこととした。 	—
20	7月26日	企業	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの取組をなにをやったらよいか相談したい。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月1日午後に来所、面談の予定をセツト。 リース業がシェアリングエコノミーであり、SDGs実現の優位性ポテンシャルがあることを中心に意見交換。 企業向けSDGs取組サービスを展開している一般社団法人中部SDGsセンターを紹介。 	—
21	8月4日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> 11-12月開催のシルバークレッジで都市に関する環境問題についての講演、ワークショップの企画を手伝ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 名大名誉教授とEPOスタッフが組んで講演とワークショップ対応する内容で企画を進めることで、先方に提案。 8/30先方と電話打合せ、日程調整を進める。 日程調整の結果12/8に実施決定。 	—

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
22	8月8日	学校・教育機関	・昨年度も実施したSDGs授業の依頼。	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承、詳細は別途協議。 ・実施日は11/27に決定 ・10/31内容についてオンライン打合せ、プログラムは前年度と同様とするが、クイズは少し高度なものにすることとする。 	—
23	8月9日	その他事業主体	・次年度PF事業に応募したいため、情報収集、意見交換などの対応を依頼したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・PF事業は今年度でいったん終了するが、後継事業を検討されている旨を情報提供。 ・三重県内での資源循環系テーマでの取組での応募を想定されており、自治体等の具体のSHとも連携済みであるとのこと。 ・相談者がEPO中部・協働コーディネーターであるため、9/1協働コーディネーター情報交換会の場でも中部事務局との意見交換が可能であることをお伝えした。 	—
24	8月13日	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度北陸ESD推進連絡協議会の委員の就任を要請された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部地方ESDC担当が対応。 ・年3回のオンライン会議に出席予定。 	—
25	8月31日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> ・地域循環共生圏をテーマにした勉強会を開催したいため、講師を依頼したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8/31に来館して相談があり、関連資料・情報を提供のうえ、EPOスタッフ登壇でお引き受けをした。後日に詳細が決まりしだい、改めて連絡いただけるとのこと。 ・9/19にシンポジウムの開催日(10/28)、チラシ案等が届き、打合せの設定依頼があった。 ・9/22打合せを実施。 ・9/25プロフィール提出依頼あり。 ・9/27登壇骨子の提出の依頼あり。 ・10/23登壇者打合せを実施。 ・10/28シンポジウムに登壇し、地域循環共生圏について概説。 ・11/6質問状への回答依頼の電話・メール。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10/30に御礼の電話があり、参加者数は少なかつたものの、参加者の反応が非常に好評であったとのお知らせをいただいた。 ・11/4問答集の回答例作成を依頼され、作成のうえ送付。
26	9月19日	企業	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動への参加を検討しており、企業による参画が可能な活動を紹介してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/19にメールで依頼があり、10/5に詳細についての打合せを設定。 ・10/5来館。愛知県内で協働できるNPO等の活動紹介の依頼、相談をうける。「なごや環境大 学」の冊子、NPO出展環境イベント等の関連資料を提供し、まずは気になった活動・団体のイベントにいくつか参加し、その中から社員数十名で参加できそうな活動、及び協働できそうなNPOを探すことを薦めた。また企業のCSR等においてSDGsを標榜する上での注意点などについて意見交換・情報提供を行った。 	—
27	10月11日	NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市立高針台中学校1年生向け講座講師役を依頼したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年を7つに分けてSDGsに関する専門家の話を聞くという企画内容で、その一つの行政の部分を担当してほしいとのこと。 ・講師派遣を了承、10/30に来所打合せ。SDGsを身近にする内容のクイズとワークショップを実施することとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11/28講座実施。31人参加。 ・12/6こどもたちのお礼と感想文をメールで受領。
28	12月5日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の職員向けに環境学習の推進に関する講座を実施したい。講演とワークショップをお願いできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。日時は2月1日13:30~17:00で調整。 ・協働連携をいかに進めるかをテーマで講演とWSを実施する。 ・作成中のESDワークショップの内容活用を実施。 	—
29	12月7日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・1/20開催の学倫IDA(長野県飯田市)のセッションに、中部大学、松本大学と連携している事例発表に参加してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。連携研究実践事例の内容を共有。 ・12/27実施要領とチラシ受領 ・1/10関係者と当日進行等の内容をオンラインで打合せ ・1/20学倫IDA公開セッションに参加、発表。 	—

No.	受付日	相談者	相談内容	対応内容	事後報告
30	12月13日	その他事業主体	・オンラインの公開セミナーでSDGsやESDについて講演を依頼したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。12/14にオンラインで打合せ。 ・実施日時は3/117:00～17:30で調整。 ・2/28事前打合せ ・子どもの保護者、教育関係者、一般市民を想定した30分の講演を実施。 	—
31	1月12日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsまちづくり事業について2月9日(金)成果報告会でEPOのSDGs分析表と使いたい。作成する案について助言いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。分析表作成案送付を待機。 ・1/15に分析チャート案を受領、使い方について特に関わりなく、事例として用いたいと返信。 ・事例として用いていることに了解いただいた。 ・1/30電話・メールでSDGsまちづくり推進事業報告会のチラシをメール送付いただき、後援名義使用と広報協力の依頼があった。→EPOのwebサイト、Facebook、Instagramに記事を投稿。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例として第2回運営委員会参考資料として添付。 ・2/9成果報告会にオンライン参加、活動見える化プログラムの活用報告視聴
32	1月20日	大学関係	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が動物園をフィールドとしたSDGsの取組を企画したいがいまいアイデアはないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道ESDCが気候変動教育を動物で企画する取組をしているので関連情報をヒヤリングする旨回答。 ・1/24ESDC連絡会で北海道C担当にヒヤリング。 ・1/29事例資料を受領。事例資料を提供と同時にオンラインで説明およびアドバイス。 	—
33	2月6日	企業	<ul style="list-style-type: none"> ・県の環境学習ポータルサイトへの登録活動・団体を増やしたいため、協力いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2/6来所して業務打合せを行った際に相談あり。 ・対象県内の活動者等へ案内すること、広報協力を行うことなどを回答。 	—
34	2月10日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・越前市立の小学校でESD活動を行っているが、発表の場がないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北陸ESD推進コンソーシアムのHP情報をメールで提供。交流会等もあるので連絡をとってみることを提案。 	—
35	2月13日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・R6年度SDGsまちづくり事業のプロポーザル委員をお願いできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応を了承。4月下旬～5月に審査を行うスケジュールで打合せを進める。 	—
36	2月21日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ESDワーキングブックをメンバーに配布したいがもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り急ぎ研究会メンバーに10部ずつ送ることで対応。 	—
37	3月6日	自治体	<ul style="list-style-type: none"> ・市の環境審議会の委員へのEPO職員による就任は可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/6にメールで連絡あり。引き受け可能であるが、次年度のEPO運営受託に係る企画競争が行われているタイミングであるため、可否についての回答を保留したい旨を返信した。受託等の確定後に再連絡することになった。 	—
38	3月11日	その他事業主体	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市の会員企業からボランティア活動をしたいとの要望があったため、受け入れてくれそうな団体を紹介いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3/11メールで依頼があり、翌3/12に藤前干潟クリーンアップ大作成などの該当するイベント、団体、ボランティア情報提供サイトなどを返信した。 	—

②来館による相談・照会、資料配架依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・気候危機をテーマにした座談会への登壇依頼 ・環境省・GEOC との情報交換 ・東北 EPO との情報交換 ・PF 事業関係者との意見交換 ・5/31 シンポジウムのコーディネーター登壇について打合せ ・情報収集
5月	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体の方から後任紹介の挨拶等 ・企業から SDGs フォーラム開催（出展）に関する相談 ・高校生インターン受入の打合せ ・自治体とシンポジウム進行について打合せ
6月	4件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の SDGs 研修について相談 ・同時解決事業採択団体の方と情報交換 ・情報収集 ・挨拶立寄（国立研究開発法人の方）
7月	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・JCCCA の方に EPO 紹介、意見交換 ・情報収集（2件） ・自治体から温暖化に関する相談 ・防火対象物定期点検・防災管理点検 ・EPO 中部前任担当者立寄り
8月	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から SDGs に関する相談 ・情報収集 ・NPO と高校生インターン受入れの打合せと書類確認 ・高校生インターンシップ受入（2件） ・事務所のインターン大学生の訪問、EPO 紹介等 ・地域循環共生圏についての相談
9月	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・新次長によるご挨拶 ・セブン財団と地方 EPO との意見交換 ・情報収集
10月	3件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から環境維持・保全活動に関する相談 ・新次長によるご挨拶 ・NPO から中学校での SDGs 関連授業に関する相談
11月	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集
12月	2件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から環境学習に関する研修について相談 ・資料・情報収集
1月	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集
2月	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・元協働コーディネーターがご挨拶に立ち寄り
3月	0件	
計	38件	

③メール・電話による相談、問合せ、広報依頼等

月	件数	相談・問合せ内容
4月	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体から気候危機講座の座談会登壇者（職員派遣）について相談のメール ・自治体から環境イベント実行委員会への出席依頼に関する電話及びメール ・教育機関の方から前受託団体スタッフについて問合せの電話 ・NPO 法人から森林ボランティアの募集にかかる広報協力依頼のメール ・PF 事業事例の新聞記事掲載にあたっての情報交換の依頼の電話 ・塾から揖斐川に関する教材（前受託団体作成）について問合せの電話 ・自治体から後援依頼の電話及びメール ・学生から環境関係のフリーペーパー配架依頼についてのメール ・大学から学生団体提案事業にかかるクラウドファンディングについて広報協力依頼のメール ・自治体からユネスコスクール支援事業についての電話 ・NPO 法人から高校生インターン受入について問合せの電話及びメール
5月	12件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人から助成事業第三者活動評価の依頼に関する問合せのメール ・自治体から環境課題を解決する研究生の募集について広報依頼のメール ・自治体から講座募集の広報協力依頼のメール

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・企業から SDGs イベント開催（出展）に関する協力依頼の電話 ・他 EPO から広報協力依頼のメール ・自治体から SDGs 関連事業についての電話 ・銀行から環境関連基金について団体募集の広報協力依頼のメール ・企業からフォーラム出展申込書類送付のメール ・自治体から生物多様性関連事業についてパンフ設置依頼の電話 ・他 EPO から業務について質問の電話（2件） ・自治体からシンポジウムに関する電話
6月	10件	<ul style="list-style-type: none"> ・企業から SDGs 研修のメール依頼 ・自治体から環境イベント一覧及びカーボンオフセット/温暖化関連の貸出資材について問合せの電話 ・NPO 法人から高校生インターンシップ実施要項についてのメール ・公益社団法人から環境関係の講座及び研修についてメールマガジン掲載依頼のメール ・企業から EPO 訪問について確認の電話 ・他 EPO から支援団体と中部地方高校との連携相談にかかる問合せのメール ・同時解決事業採択団体から来訪について問合せのメール ・企業からフォーラムにかかる広報協力依頼のメール ・主催行事について空席確認の電話 ・企業から出展イベントに関わる問合せの電話
7月	12件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人から高校生インターン応募者についての電話 ・一般社団法人から催事関係者への連絡調整依頼のメール ・インターンシップの高校生から確認の電話 ・公益社団法人から助成金事業の広報協力依頼のメール ・他地方 EPO から報告書について問合せの電話 ・企業から生物多様性関連事業について広報協力依頼のメール ・GEOC からセブン財団 EPO 訪問についての日程調整連絡 ・SDGs 関連フォーラム出展に関するメール ・公益財団法人からリサイクル活動イベントについてメルマガ掲載依頼のメール ・NPO 法人から助成事業について広報協力依頼のメール ・企業から SDGs 関連事業・連携について相談の電話 ・自治体から生物多様性関連事業等について、web 掲載依頼のメール
8月	19件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人から web 掲載画像について差替依頼のメール ・企業から SDGs イベント出展に関する資料送付のメール ・一般社団法人から環境省補助事業について周知依頼のメール ・インターン（高校生）からレポート提出に関するメール ・企業から出展する SDGs イベントについて追加広報素材の提供 ・企業からイベント参加者の撮影承諾にかかるメール ・協働コーディネーターが PF 事業について問合せの電話 ・PF 団体からイベントの広報協力依頼のメール ・インターン高校生からレポート提出に関するメール ・企業からイベント登壇者に関する問合せの電話 ・NPO からインターンシップ巡回について連絡のメール ・企業から出展イベント経費にかかる連絡のメール ・PF 七尾から中間共有会についての問合せ電話 ・研究機関から気候変動関連教材の提供と情報提供のメール ・他地方 EPO から依頼事項への対応に対する御礼の電話 ・EPO 訪問についての問合せ電話 ・温暖化についての手紙送付先の問合せ電話 ・ゴミ処理についての問合せ電話 ・PF 七尾から別件取組での後援依頼のメール
9月	11件	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO から EPO 利用の問合せの電話 ・観光事業者から PF 郡上の現状についての問合せの電話 ・環境カウンセラーから講演依頼のメール ・ESD 拠点から催事申込について問合せのメール ・環境カウンセラーから講師依頼に関するメール ・企業から環境維持・保全活動の紹介依頼メール ・他 ESD センターから主催イベントの問合せメール ・主催イベント登壇者からの連絡対応 ・自治体から web 掲載に関する問合せ ・自治体から web 掲載依頼のメール

月	件数	相談・問合せ内容
		・ NPO から EPO 利用予約時間変更の依頼電話
10 月	19 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般社団法人から食品ロス関連イベント広報協力依頼の電話 ・ 環境カウンセラーから登壇依頼シンポジウムのチラシ原稿確認に関するメール、電話 ・ 地域団体から地域循環共生圏 PF の登録制度について問合せの電話 ・ 自治体から主催セミナーについて問合せの電話 ・ 関東 EPO から PF 事業化支援についての問合せ電話 ・ EPO 中国から島根県人材の紹介電話 ・ NPO から中学校での SDGs 授業の依頼電話・メール ・ 関東 EPO から PF 事業化支援についての問合せ電話 ・ 地球環境基金説明会についての問合せ電話 ・ NPO から講師登壇依頼シンポジウムの事前打合せの日程調整メール ・ 環境カウンセラーから依頼している講演に関する件で確認の電話 ・ チラシ配架依頼の電話 ・ 高校から SDGs 関連授業の打合せにかかる電話 ・ 国立研究開発法人から気候変動に係る普及啓発教育ツールについて感想・意見照会のメール ・ 協働コーディネーターから地域循環共生圏催事についての問合せ電話 ・ 環境カウンセラーから依頼講演資料についての問合せ電話 ・ 自治体から掲載ページ修正（チラシ差替）依頼のメール ・ 主催催事について申込者から確認の電話 ・ NPO からシンポジウム登壇の御礼の電話
11 月	17 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境カウンセラーから依頼講演に対する質問対応の依頼電話 ・ 自治体から主催催事について内容確認の電話 ・ 地球環境基金申請に関する電話 ・ 企業から EPO 業務・施設利用等について問合せのメール ・ 自治体から主催催事に関する問合せ等の電話（3 件） ・ 企業から活動内容に関する問合せのメール ・ ESD ダイアログについて参加申込者から問合せ ・ 協働コーディネーターから他コーディネーター連絡先に関する問合せの電話 ・ 行政機関から催事に関する問合せの電話 ・ 公益財団法人から環境助成に関するお知らせのメール ・ 自治体から環境活動催事について広報協力の電話 ・ 教育機関から web サイトのリンク可否等に関する照会のメール ・ 一般の方からクマ出沒に関する行政機関の問合せ先についての電話 ・ 行政から環境学習に関する研修について相談の電話 ・ 行政から環境教育の研修について日程調整の電話
12 月	18 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ PF 事業活動団体の関係者から事業についての問合せ電話 ・ 自治体から広報協力依頼のメール ・ 自治体から広報協力依頼の電話 ・ 公益社団法人から助成金募集期間延長について広報協力依頼のメール ・ 塾から SDGs や環境教育をテーマにした講演依頼の電話 ・ 合同会社から講演打合せに関するメール ・ セミナー申込者から参加方法について問合せの電話 ・ セミナー申込者から参加案内、アーカイブ視聴について問合せのメール（6 件） ・ セミナー参加者から忘れ物について問合せのメール ・ 主催セミナーについてアーカイブ録音について問合せのメール ・ 自治体から講師依頼に関する電話 ・ 他の地方 EPO から業務について問合せの電話 ・ ESD 拠点団体催事について広報依頼のメール
1 月	13 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境カウンセラーから地域循環共生圏について問合せのメール ・ 自治体から SDGs 評価分析表の使用にかかる問合せのメール ・ 主催催事（参加申込/配布資料/配信状況等）に関する問合せの電話とメール（8 件） ・ 協働コーディネーターから来年度事業について相談の電話 ・ 催事参加者から受講証明書発行依頼のメール ・ 自治体から催事後援依頼、広報協力依頼のメール
2 月	15 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連機関から SDGs 関連催事の広報協力依頼のメール ・ プロパンガスのガスの抜き方の問合せ電話 ・ 一般社団から地域循環共生圏事業についての問合せ電話 ・ 一般の方から催事申込に関する電話及びメール（3 件） ・ 自治体から催事申込に関する問合せの電話及びメール（4 件） ・ ESD 拠点からレポート発刊についてのお知らせ

月	件数	相談・問合せ内容
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自治体から登壇謝金関係書類について問合せの電話 ▪ NPO 法人から助成事業の情報提供及び広報協力依頼の電話とメール ▪ 教育関係者から SDGs 関連書籍に関する広報のメール ▪ 自治体から事業終了に伴う web 掲載ページの削除依頼についてメール
3月	4件	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 自治体から環境審議会委員就任の依頼に関するメール (2件) ▪ NPO から助成プロジェクトの周知協力依頼のメール ▪ 公益社団法人からボランティア活動受入先について相談のメール
計	161件	

イ 対話の体制の構築

(ア) 会議・セミナー等地域活動への招聘

- EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センターが自治体・団体等から招聘された会議等は次表の通りである。
- 会議出席のほか、講師としての登壇など、関係主体の依頼に対し適宜対応した。
- これらの会議等への出席を通じて、地域での協働体制の構築及びノウハウの蓄積を行った。なお、開催地域については事務所担当官に報告し、調整を行った。

県区分	開催日	依頼主体等	依頼事業の名称	依頼／対応内容	方法	謝金
1 愛知	4月14日	名古屋市環境局環境企画部環境企画課	「環境デーなごや」実行委員会	委員	対面	あり
2 愛知	5月31日	名古屋市上下水道局	第11回木曾三川流域連携シンポジウム	パネルディスカッションコーディネーター	対面	あり
3 愛知	6月3日	公益財団法人名古屋産業科学研究所	あいち環境塾	講師	対面	あり
4 愛知	6月9日	愛知県教育委員会	愛知県ユネスコスクール支援会議	委員	対面	あり
5 愛知	6月11日	愛知県生涯学習センター	生涯学習あいち県民講座『どうする？気候危機』	座談会出席	対面	なし
6 愛知	6月28日	ALSO	新入社員SDGs研修	講師、WSファシリテーター	対面	なし
7 愛知	7月7日	全国地球温暖化防止活動センター	令和5年度第1回中部ブロック会議	話題提供講師	その他	なし
8 愛知	7月27日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	地球温暖化対策調整会議	話題提供講師	対面	なし
9 愛知	8月23日	アサヒ飲料株式会社中部北陸本部	SDGs 将来世代創造フォーラム 2023	ブース出展	その他	なし
10 長野	9月2日	信州 ESD 推進コンソーシアム	令和5年度信州 ESD コンソーシアム通常総会	委員	オンライン	なし
11 岐阜	10月28日	岐阜環境カウンセラー協会、たじみ環境フェア実行委員会	地域循環共生圏入門シンポジウム	講師	対面	なし
12 石川	11月13日	北陸 ESD 推進コンソーシアム	第2回北陸 ESD 推進連絡協議会	委員	オンライン	なし
13 愛知	11月27日	誠信高等学校	LT 授業	講師	対面	あり
14 愛知	11月28日	名古屋市立高針台中学校	「SDGs」講座	講師	対面	あり
15 石川	12月2日	北陸 ESD 推進コンソーシアム	2023 年度北陸ユネスコスクール実践交流会	冒頭あいさつ	オンライン	なし
16 愛知	12月8日	愛知県社会福祉協議会	あいちシルバーカレッジ専門コース、環境を考える	講師、WSファシリテーター	対面	あり
17 愛知	1月11日	愛知県地球温暖化防止活動推進センター	気候危機対策交流フォーラム	トークセッションコーディネーター	対面	なし
18 愛知	1月15日	愛知県教育委員会	愛知県ユネスコスクール支援会議	委員	対面	あり
19 長野	1月20日	飯田市企画課大学誘致連携推進室	飯田学 大学公開セッション	報告者	対面	なし
20 愛知	2月9日	名古屋市環境局環境企画課	名古屋市 SDGs まちづくり報告会	視聴参加	オンライン	なし
21 愛知	2月14日	愛知県勸業活動推進課	環境学習市町村職員向け研修	講師、ファシリテーター	対面	あり
22 愛知	2月15日	中部圏 SDGs 広域プラットフォーム	中部圏 SDGs 広域プラットフォーム公開セミナー	現地参加	対面	なし
23 福井	2月24日	坂井市	坂井市まちづくりカレッジ最終回	オンライン参加	オンライン	なし
24 愛知	3月1日	みらい人材ゼミナール合同会社	「SDGsと環境教育を学ぶ」講演会	講師	オンライン	なし

(イ) そのほか打合せや地域主体との意見交換会等の実施

- 業務関係者との打合せ協議は次表の通り実施した。
- また、セミナー・フォーラム等の主催行事を実施する際には、関係自治体や関係団体等を訪問し、意見交換・情報交換を行ったほか、必要に応じ相談対応等も行った。

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
1	愛知	4月5日	愛知県生涯学習センター	面談	座談会への登壇依頼内容についての打合せ
2	中部	4月7日	中部大学:杉田先生、松本大学:田開先生	面談	ローカルSDGs指標のESD活用の意見交換
3	中部	4月11日	SDGs社会教育研究会WGメンバー	オンライン	今年度の学び合いIP構想の共有、第1回研究会開催打合せ
4	愛知	4月19日	名古屋市上下水道局	面談	シンポジウム(5/31)ディスカッションコーディネートの打合せ
5	中部	4月24日	武蔵野大学:白井先生	オンライン	学び合いPオンラインセミナー登壇依頼
6	福井	4月26日	PF丹南(ローカルSDクリエーション)、中部REO	面談	PF事業の打合せ/ヒアリング
7	長野	4月27日	PF大町(荒山林業)、中部REO	面談	PF事業の打合せ/ヒアリング
8	長野	5月10日	PF大町(荒山林業)、アドバイザー委員・長谷川先生	オンライン	大学生のPF事業活動への参加の打合せ
9	愛知	5月10日	中部ESD拠点協議会(RCE)	面談	実践セミナー協力依頼打合せ
10	愛知	5月11日	愛知県生涯学習センター	オンライン	6/11座談会の打合せ
11	長野	5月12日	水谷運営委員	面談	ESDダイアログの打合せ
12	長野	5月12日	長野NPOセンター	面談	信州協働業務の打合せ
13	長野	5月12日	伊那市	面談	ESDダイアログの打合せ
14	愛知	5月15日	アサヒ飲料	面談	展示会出展等の打合せ
15	愛知	5月16日	東海学園大学、中部REO	オンライン	白書を読む会の打合せ
16	石川	5月18日	PF七尾(ななおSDGsスイッチ)	オンライン	PF事業(事業化支援)打合せ
17	愛知	5月24日	NPOアスクネット	面談	高校生インターンシップ受入についての打合せ
18	愛知	5月25日	名古屋環境局環境企画課	面談	SDGs評価についての意見交換
19	愛知	5月26日	中部ESD拠点協議会(RCE)	面談	実践セミナー内容打合せ
20	20	5月29日	東海学園大学、中部REO	オンライン	白書を読む会の打合せ
21	21	5月29日	名古屋市上下水道局	面談	シンポジウム(5/31)ディスカッション進行の打合せ
22	中部	6月1日	SDGs社会教育研究会WGメンバー	オンライン	第1回研究会のワークショップに向けた打合せ
23	愛知	6月2日	名古屋市立大学:伊藤先生、中部REO	オンライン	ESD/EPO運営委員会①座長打合せ
24	愛知	6月5日	RCE中部	面談	実践セミナー打合せ
25	長野	6月13日	里山ウェルネス研究会	面談	同時解決事業のその後の活動について情報共有
26	富山	6月15日	PECとやま	面談	地域循環共生圏イベント開催可能性の意見交換
27	石川	6月15日	金沢大学加藤先生	面談	ESDヒアリング
28	愛知	6月19日	東海学園大学、中部REO	面談	白書を読む会の会場打合せ
29	愛知	6月23日	RCE中部	面談	実践セミナー打合せ
30	愛知	6月28日	ALSO(物流会社)	面談	ESD・SDGsヒアリング
31	愛知	6月30日	東海学園大学、中部REO	面談	白書を読む会の打合せ、会場準備
32	長野	7月7日	伊那市観光課	オンライン	ESDダイアログ打合せ
33	石川	7月11日	PF七尾(ななおSDGsスイッチ)	オンライン	PF事業(事業化支援)打合せ
34	長野	7月13日	飯田市環境課、企画課、松本大学田開研	面談	ESDダイアログ活動報告登壇依頼、調整
35	福井	7月13日	PF丹南(ローカルSDクリエーション)、中部REO	面談	PF事業の打合せ
36	愛知	7月14日	RCE中部	面談	実践セミナー打合せ
37	愛知	7月18日	岩倉市	面談	温暖化対策の施策に関する情報交換
38	愛知	7月25日	おとうふ工房いしかわ	面談	SDGs・ESDに関するヒアリング
39	愛知	7月26日	農林水産省東海農政局	面談	実践セミナー登壇依頼、打合せ
40	愛知	7月26日	愛知県気候変動適応センター	面談	気候変動フォーラム内容打合せ
41	岐阜	7月26日	岐阜県立高山工業高等学校	オンライン	ヒアリングの依頼
42	愛知	7月28日	鬼崎漁業協同組合	面談	実践セミナー登壇依頼、打合せ
43	愛知	7月28日	愛知県水産試験場(漁業生産研究所)	面談	実践セミナー登壇依頼、打合せ
44	中部	8月3日	中部地方環境事務所自然環境担当官	面談	自然資源活用業務:愛知会合の打合せ
45	その他	8月8日	専修大学	オンライン	EPO中部の取組紹介、意見交換
46	愛知	8月9日	NPOアスクネット	面談	高校生インターンシップ受入生徒についての打合せ
47	その他	8月18日	中部地方環境事務所	面談	自然資本活用:信州会合の打合せ
48	愛知	8月21日	南山高校女子部の生徒2名	面談	インターン内容のオリエンテーション
49	その他	8月22日	PF七尾(ななおSDGsスイッチ)、PF八女	オンライン	PF八女のSHミーティングにオブザーバー参加
50	愛知	8月23日	名古屋大学坪木研究室	面談	愛知県地球温暖化防止センター気候変動フォーラムの打合せ
51	その他	8月27日	日本環境教育学会	面談	学術大会参加(発表)
52	石川	8月28日	PF七尾(ななおSDGsスイッチ)、環境省地域政策課、MURC	面談	PF事業(事業化支援)打合せ
53	その他	8月29日	中部地方環境事務所のインターン大学生	面談	EPOの紹介
54	愛知	8月30日	南山高校女子部の生徒2名	その他	高校生インターンの内勤対応
55	中部	8月31日	中部地方環境事務所脱炭素担当官	オンライン	SH連携業務:愛知建設会合の打合せ
56	福井	9月1日	PF丹南(ローカルSDクリエーション)	面談	PF事業、中間共有会の打合せ
57	愛知	9月6日	RCE中部	面談	実践セミナー打合せ
58	中部	9月6日	ESDフォーラム登壇者	オンライン	ESDフォーラム事前打合せ
59	石川	9月13日	PF七尾(ななおSDGsスイッチ)、環境省地域政策課、MURC	オンライン	PF事業(事業化支援)打合せ
60	愛知	9月19日	北名古屋市環境課	面談	廃棄物広報政策意見交換

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
61	愛知	9月20日	RCE 中部	面談	実践セミナー打合せ
62	岐阜	9月22日	岐阜環境カウンセラー協議会	オンライン	地域循環共生圏入門シンポジウムの打合せ
63	その他	9月25日	セブイレブ財団、GEOC、中部 REO	面談	ご挨拶、顔合せ
64	福井	9月26日	有識者会議委員の現地視察	その他	有識者会議委員・飯盛先生による PF 丹南の視察
65	福井	10月2日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	オンライン	PF 事業、中間共有会の打合せ
66	長野	10月5日	PF 大町(荒山林業)、中部 REO	オンライン	PF 事業、中間共有会の打合せ
67	石川	10月26日	PF 七尾(ななお SDGs スイッチ)、環境省地域政策課、MURC	面談	PF 事業(事業化支援)打合せ
68	岐阜	10月27日	美濃加茂市環境課	面談	SDGs未来都市学生サミット登壇依頼
69	富山	10月27日	南砺市エコビレッジ推進課	面談	SDGs未来都市学生サミット登壇依頼
70	岐阜	10月28日	高山工業高校	面談	教職員ESDヒアリング
71	愛知	10月30日	アスクネット	面談	SDGs授業打合せ
72	愛知	10月31日	誠信高校	オンライン	SDGs授業打合せ
73	長野	10月31日	里山ウェルネス研究会、中部 REO	オンライン	自然資本活用:信州の森会合の登壇者打合せ
74	その他	10月31日	(株)トビムシ、中部 REO	オンライン	自然資本活用:信州の森会合の登壇者打合せ
75	愛知	10月31日	EPOC、中部 REO	オンライン	自然資本活用:企画打合せ
76	その他	11月1日	東急リゾーツ&ステイ(株)、中部 REO	オンライン	自然資本活用:信州の森会合の登壇者打合せ
77	長野	11月7日	伊那市南アルプスジオパーク協議会事務局	オンライン	ESD ダイアログの打合せ
78	三重	11月20日	ネクストステップ研究会(協働コーディネーター・寺田氏)	面談	地域循環共生圏フォーラム企画の打合せ
79	三重	11月20日	鳥羽市環境課、観光商工課、鳥羽市温泉振興会、伊勢志摩保護官事務所、中部 REO	面談	SH 連携:鳥羽会合の企画打合せ
80	愛知	11月22日	RCE 中部	面談	実践セミナー運営打合せ
81	長野	12月1日	飯田女子高校	面談	教職員ESDヒアリング
82	長野	12月1日	上田市政策企画課	面談	学生サミット登壇依頼
83	愛知	12月5日	愛知県環境活動推進課	面談	ワークショップ依頼の打合せ
84	三重	12月6日	ネクストステップ研究会(協働コーディネーター・寺田氏)	面談	地域循環共生圏フォーラム企画の打合せ
85	中部	12月11日	中部地方環境事務所脱炭素担当官	オンライン	SH 連携:北陸脱炭素セミナー打合せ
86	中部	12月13日	中部地方環境事務所資源循環担当官	面談	SH 連携:サーキュラーエコノミーフォーラム打合せ
87	愛知	12月14日	みらい人材ゼミナール	オンライン	講師派遣に関する打合せ
88	福井	12月15日	PF 丹南(ローカル SD クリエーション)	オンライン	PF 事業 SH ミーティングの打合せ
89	中部	12月26日	中部地方環境事務所脱炭素担当官、福井銀行	オンライン	SH 連携:北陸脱炭素セミナーの会場打合せ
90	中部	12月28日	学生サミットファシリテーター	オンライン	学生サミットディスカッション進行方法打合せ
91	中部	1月5日	学生サミットファシリテーター	オンライン	学生サミットディスカッション進行方法打合せ
92	長野	1月10日	飯田学 大学公開セッション関係者	オンライン	飯田学 大学公開セッション進行打合せ
93	愛知	1月11日	学生サミット参加グループ(中部大学)	オンライン	学生サミット事前会合
94	愛知	1月12日	半田市環境課(知多半島5市5町脱炭素勉強会事務局)、中部地方環境事務所	面談	SH 連携:知多の地域交通×脱炭素勉強会の打合せ
95	三重	1月15日	アマタ(株)、近畿環境事務所、中部事務所	オンライン	地域循環共生圏フォーラム in 北勢の登壇打合せ
96	三重	1月17日	三重県地球温暖化対策課、ネクストステップ研究会	面談	地域循環共生圏フォーラム in 北勢の参加協力依頼打合せ
97	三重	1月17日	四日市市環境政策課、ネクストステップ研究会	面談	地域循環共生圏フォーラム in 北勢の参加協力依頼打合せ
98	三重	1月17日	桑名市グリーン資産創造課、ネクストステップ研究会	面談	地域循環共生圏フォーラム in 北勢の参加協力依頼打合せ
99	その他	1月18日	名古屋市長官舎:伊藤先生	オンライン	ESD/EPO 運営委員会②座長打合せ
100	その他	1月18日	学生サミット参加グループ(静岡大学)	オンライン	学生サミット事前会合
101	岐阜	1月19日	学生サミット参加グループ(岐阜大学)	オンライン	学生サミット事前会合
102	中部	1月26日	中部地方環境事務所	面談	SH 連携:中部カンファレンスの打合せ
103	長野	1月29日	学生サミット参加グループ(松本大学)	オンライン	学生サミット事前会合
104	長野	1月30日	学生サミット参加グループ(あいちサステイナ研究所)	オンライン	学生サミット事前会合
105	石川	2月1日	学生サミット参加グループ(金沢星稜大学)	オンライン	学生サミット事前会合
106	その他	2月2日	名古屋銀行協会、中部地方環境事務所	面談	中部カンファレンスの会場確認
107	その他	2月9日	ESD推進ネットワーク	オンライン	環境教育推進法基本方針二かかるとのディスカッション
108	長野	2月20日	伊那市観光課エコパーク・ジオパーク推進係	オンライン	ESDダイアログにかかる行動変容ヒアリング
109	愛知	2月21日	知多乗合(株)、半田市環境課、中部地方環境事務所	面談	SH連携:知多勉強会の登壇者打合せ
110	愛知	2月21日	中部ESD拠点協議会(RCE)	面談	ESDダイアログにかかる行動変容ヒアリング
111	福井	2月21日	アルマス・バイオコスモス研究所	オンライン	ESDダイアログにかかる行動変容ヒアリング
112	富山	2月21日	PECとやま	オンライン	ESDダイアログにかかる行動変容ヒアリング

	県区分	実施日	打合せ主体(担当組織・部署)	方法	実施内容
113	その他	2月22日	地域循環共生圏事業応募3団体、ComodoLabo、中部地方環境事務所	オンライン	次年度地域循環共生圏事業への応募3団体それぞれのヒアリング
114	愛知	2月26日	大同大学・樋口先生、半田市環境課、中部地方環境事務所	面談	SH連携:知多勉強会の登壇者打合せ
115	その他	2月26日	地域循環共生圏事業応募1団体、ComodoLabo、中部地方環境事務所	オンライン	次年度地域循環共生圏事業への応募1団体それぞれのヒアリング
116	愛知	2月28日	みらい人材ゼミナール	面談	3/1講演の事前打合せ

ウ 定例報告

- 前項に整理した EPO 運營業務に関わる業務日報、施設の運営・利用状況、相談対応票、EPO 中部に関わった審議会・委員会・検討会・会議等（他団体主催のもの）について、月次で報告資料を作成、提出を行っている。
- EPO 中部施設の今年度の開館状況、来館件数とメール・電話による問合せ件数等は、次の通りであった。

【施設の運用状況・使用状況等】

	業務実施 日数・計 (日)	開館日数・ 計(日)	来館者数・計(人)		来館件数・計		メール・電話による問 合せ件数(件)		スタッフ体制・計	
			日平均 (人/日)	日平均 (人/日)	日平均 (件/日)	日平均 (人/日)				
4月	20	20	18	0.9	11	0.6	11	0.6	62	3.1
5月	21	20	8	0.4	5	0.3	12	0.6	63	3.0
6月	24	22	8	0.4	6	0.3	10	0.5	70	2.9
7月	21	20	21	1.1	10	0.5	12	0.6	58	2.8
8月	18	18	22	1.2	12	0.7	19	0.9	56	3.1
9月	23	20	14	0.7	7	0.4	11	0.6	71	3.1
10月	22	21	18	0.9	7	0.3	19	0.9	66	3.0
11月	23	20	4	0.2	3	0.2	17	0.9	82	3.6
12月	21	18	14	0.8	6	0.3	18	1.0	60	2.9
1月	21	19	3	0.2	2	0.1	13	0.7	68	3.2
2月	24	19	19	1.0	7	0.4	15	0.8	71	3.0
3月	11	11	1	0.1	1	0.1	4	0.4	35	3.2
計	249	228	150	0.7	77	0.3	161	0.7	762	3.3

【（参考）前年度・2022年度の実績】

	業務実施 日数・計 (日)	開館日数・ 計(日)	来館者数・計(人)		来館件数・計		メール・電話による問 合せ件数(件)		スタッフ体制・計	
			日平均 (人/日)	日平均 (人/日)	日平均 (件/日)	日平均 (人/日)				
4月	21	21	17	0.8	11	0.5	15	0.8	64	3.0
5月	22	19	4	0.2	4	0.2	19	1.0	68	3.1
6月	23	22	12	0.5	8	0.4	19	0.9	73	3.2
7月	23	20	15	0.8	10	0.5	12	0.6	69	3.0
8月	21	18	9	0.5	6	0.3	5	0.3	59	2.8
9月	25	20	4	0.2	2	0.1	19	1.0	65	2.6
10月	20	20	11	0.6	6	0.3	11	0.6	63	3.2
11月	26	20	5	0.3	4	0.2	16	0.8	82	3.2
12月	21	18	17	0.9	8	0.4	16	0.9	61	2.9
1月	22	20	22	1.1	8	0.4	22	1.2	72	3.3
2月	23	20	18	0.9	8	0.4	13	0.7	66	2.9
3月	25	22	8	0.4	6	0.3	39	1.8	74	3.0
計	272	240	142	0.6	81	0.3	206	0.9	816	3.4

(3) 施設の維持・管理

ア オフィスの防火・防災管理及び解錠・施錠管理

- 防火・防災管理については、消防法に則り、EPO 中部の常勤スタッフが 2018 年度に「防火・防災管理者」講習を受講した上で消防計画書等を作成、管轄消防署への届出を行った。
- また、2023 年度（2018 年度の防火・防災管理者講習から 5 年度目）は、防火・防災管理再講習を受講する必要がある年度であったため、2023 年 5 月に名古屋市の防火・防災管理再講習を同スタッフが受講し、防火・防災管理者を継続して務めることになった。
- ビル内全テナントを対象にした防火・防災検査が 7 月 18 日に実施され、ビル管理会社を通して、中部地方環境事務所による記名済みの検査結果書類を 8 月 25 日付で消防署へ提出し、受理された。
- 11 月 17 日に入居ビルの総合防災訓練が実施され、EPO 中部スタッフ 2 名が参加した。
- 日常的な防火・防災対応として、身のまわりの防火・防災に関わるチェックを、定期的に（週 2 回程度）実施しているほか、関係書類等を「防火管理台帳」で保管している。
- また、各種要届出書類等については、中部地方環境事務所へも提示・確認を行っている。

【防火・防災管理点検結果報告書】

別記様式第1 防火対象物点検結果報告書 令和 5 年 8 月 25 日 名古屋市消防署長 殿 管理権原者 住 所 名古屋市中区三の丸2-5-2 中部地方環境事務所 氏 名 総務課長 中島 靖史 電話番号 052-955-2130 下記のとおり防火対象物の点検を実施したので、消防法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。 記		別記様式第1 防災管理点検結果報告書 令和 5 年 8 月 25 日 名古屋市消防署長 殿 管理権原者 住 所 名古屋市中区三の丸2-5-2 中部地方環境事務所 氏 名 総務課長 中島 靖史 電話番号 052-955-2130 下記のとおり防災管理対象物の点検を実施したので、消防法第36条第1項において準用する同法第8条の2の2第1項の規定に基づき報告します。 記	
防火対象物	所在地 名古屋市中区錦二丁目4番3号 名称 錦パークビル 階数 4階 管理権原の場合に管理権原に属する部分の名称 環境省中部環境パートナーシップオフィス	防火対象物	所在地 名古屋市中区錦二丁目4番3号 名称 錦パークビル 階数 4階 管理権原の場合に管理権原に属する部分の名称 環境省中部環境パートナーシップオフィス
用途	事務所 令別表第一（15項）	用途	事務所 令別表第一 15項
構造・規模	耐火造 地上 22階 地下 4階 床面積 3,335.78㎡ 延べ面積 27,227.54㎡	構造・規模	耐火造 地上 22階 地下 4階 P1H 2階 床面積 3,335.78㎡ 延べ面積 27,227.54㎡
点検実施日	令和 5 年 7 月 18 日	点検実施日	令和 5 年 7 月 18 日
消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用	<input type="checkbox"/> 第1号 <input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	点 住 所	名古屋市中区秋葉二丁目90番地 電話番号 052-589-3249
住 所	名古屋市中区秋葉二丁目90番地 電話番号 052-589-3249	氏 名	渡邊 岳成 (能美防災株式会社 中部支社)
講習機関名	講習機関名 免状交付年月日 免状交付番号 有効期限 財団法人消防協会 平成 30 年 12 月 4 日 第 441600203 号 令和 6 年 3 月 31 日	免 状	講習機関名 免状交付年月日 免状交付番号 有効期限 財団法人消防協会 令和 1 年 5 月 14 日 第 642101532 号 令和 6 年 3 月 31 日
受付欄 ※2	経過欄 ※2	受付欄 ※2	経過欄 ※2
備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。 3 消防法施行規則第4条の2の6第2項の適用の欄は、適用される規定がある場合、該当する規定の□にレ点を記入すること。 4 ※2欄は、記入しないこと。		備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。 2 ※1欄は、複数権原の場合にあっては管理権原に属する部分の情報を記入すること。 3 ※2欄は、記入しないこと。	

イ 施設・設備の維持管理

- 来館者が快適に利用できるよう、オフィス内を常に整頓・整理し、施設・設備の維持管理を行った。

ウ オフィスの運営

- オフィスの運営及び業務実施に必要な機材・消耗品等を揃え、その使用料の支払、EPO 中部及び中部地方ESDセンターのHP・メールアドレス・固定IPの維持管理費用の支払等、維持管理に必要な事務を適宜実施している。
- なお、EPO 中部ウェブサイト、中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト及びメールアドレス等において利用してきたレンタルサーバー会社、ドメイン管理会社が、2024 年 3 月でサービスを終了することに伴い、2023 年 12 月末にサーバー移行作業、ドメイン移管作業等を行った。

4 協働取組の促進のための業務

(1) 地域ネットワークを活用した協働取組の推進（地域循環共生圏フォーラムの開催）

①イベント名

- 地域循環共生圏フォーラム in HOKUSEI「北勢エリアで“循環”の輪を広げよう！」

②日時

- 2024年2月16日（金）13:30～16:30

③会場

- 四日市市地場産業振興センター じばさん 5階・大研修室（三重県四日市市）

④主催等

- 主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）
- 共催：一般社団法人ネクストステップ研究会

⑤参加者

- 61名（参加者53、登壇者4、事務局4）

⑥プログラム

第1部

○ごあいさつ／地域循環共生圏について

環境省中部地方環境事務所

○講演

「資源循環をきっかけとした互助共助のコミュニティづくり」

アマタ株式会社 地域デザイングループ 地域デザインチーム チームマネージャー

福田 栄二 氏

○地域の取組紹介①

「農業と食とコミュニティの地域循環」

うつべ農園株式会社 会長 上 麻理 氏

○地域の取組紹介②

「市場課題と地域循環を目指して」

北勢公設卸売市場株式会社 業務課長 石黒 誠 氏

○地域の取組紹介③

「家庭から作る小さな循環をつなぐ」

一般社団法人ネクストステップ研究会 代表 寺田 卓二 氏

第2部

○ワークショップ／グループディスカッション

「北勢エリアでつながる“循環”の輪のさらなる拡がりをめざして」

ファシリテーター：EPO 中部

○終わりにあたり

一般社団法人ネクストステップ研究会 福島 典子 氏

⑦開催案内チラシ

地域循環共生圏フォーラム in HOKUSEI

参加無料

北勢エリアで “循環”の輪を広げよう!

三重北勢でもはじまっています!
ゴミも地域課題もいらないものにするのではなく、地域の資源・資本にする取組を、いま少しずつですが進めています。
家庭の中の小さな資源循環を、地域の大きな資源循環の輪へ、みなさんと一緒につなげていきましょう。

2024年2月16日(金) 13:30~16:30

会場：四日市市地場産業振興センター
じばさん 5階・大研修室
会場ウェブサイト：<https://yokkaichi-shinko.com/jibasan/access.html>

四日市市安島1-3 →
近鉄四日市駅から徒歩5分



プログラム

第1部 [ごあいさつ]

地域循環共生圏について 環境省中部地方環境事務所

[講演]

資源循環をきっかけとした互助共助のコミュニティづくり
アマタ株式会社 地域デザイングループ 地域デザインチーム チームマネージャー 福田 栄二 氏

[地域の取組紹介]

1. 農業と食とコミュニティの地域循環 うつべ農園 会長 上 麻理 氏
2. 市場課題と地域循環を目指して 北勢公設卸売市場株式会社 業務課長 石黒 誠 氏
3. 家庭から作る小さな循環をつなぐ
一般社団法人ネクストステップ研究会 代表 寺田 卓二 氏

第2部 [ワークショップ]

北勢エリアでつながる“循環”の輪のさらなる拡がりをめざして
ファシリテーター：EPO中部

終わりにあたり 一般社団法人ネクストステップ研究会

お申し込みはこちらから!

● **参加申込フォーム**
<https://forms.gle/44qBwXsYCa22ZR526>



● **EPO中部ウェブサイト** から申し込みできます。
<https://www.epo-chubu.jp>

検索





Environmental
Partnership Office Chubu
EPO中部
環境省中部環境パートナーシップオフィス

主 催：環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
共 催：一般社団法人ネクストステップ研究会

(2) 遠隔地の協働コーディネーターと連携した実践的取組

(※連携した長野県 NPO センターの実施報告書を掲載。)

ア 業務の背景

長野県は平成 30 年 6 月から「SDGs 未来都市」として、SDGs の達成に向けた主な取組をまとめた計画を策定、実行している。令和 5 年度からの新たな 5 年計画では、災害の激甚化や急激な人口減少による担い手不足などの課題を乗り越え「確かな暮らしを守り、信州から豊かな社会を創る」を目指している。これまでに、全国に先駆けて SDGs 推進企業登録制度や信州環境カレッジを立ち上げるなど SDGs に向けアクションする主体の育成等に取り組み、その成果も見えてきている。

引き続き豊かな社会を築く礎として、暮らしを支える「社会的共通資本」を多様な関係者とともに維持・発展させていくとされており、一般市民（地域住民）、企業、NPO、行政などがその垣根を越えて「持続可能な社会・地域づくり」のプレイヤーやコーディネーターになってもらうために、地域における協働取組を促進することが必要になっている。

そのため本年度は、「食育と農による持続可能な地域づくりを考える」と「地域の課題解決と関係人口の創出を考える」をテーマに、2つのワークショップを実施した。

イ ワークショップ1：食育と農による持続可能な地域づくりを考える ワールドカフェ

(ア) 実施概要

①目的

食育活動や農作業体験の提供など「食」と「農」に関連して取り組んでいる団体や個人、農業者、消費者に幅広く参加を呼びかけ、食と農をめぐる抱えている課題や日頃の思いをワールドカフェ形式で参加者が自由に話し合い、課題解決と持続可能な地域づくりに向けた新たな「つながり・共創」を生み出して、信州における協働の取組を促進する機会とする。

②実施日時

2024 年 1 月 13 日（土）10：00～14：00

③実施場所

長野市ふれあい福祉センター（長野県長野市）

④参加者

16 人

⑤協力団体

NPO 法人食育体験教室・コラボ
信州ひらがな料理普及隊 旬食の会



【開催案内チラシ】

Environmental Partnership Office Nagano
EPO中部 環境省 中部環境パートナーシップオフィス

食と農、環境は一体。いのちはつながっている。
想いを持つ仲間もつながろう！

食育と農による 持続可能な地域づくりを考える ワールドカフェ

参加無料・募集 40 名
(先着順)

◇日 時 2024年 1月13日(土)10:00~14:00

途中に昼食休憩をはさみます。持ち寄りは大歓迎！
おすすめのお料理や一品をご提供くださると、とてもうれしいです

◇場 所 **長野市ふれあい福祉センター 4階 和室**ほか
4の3会議室と料理実習室も使います (長野市大字鶴賀緑町 1714-5)

思いや困りごとなどをお持ちください
食と農をめぐる抱えている課題や思いを、参加者で自由に話し合い、課題解決と持続可能な地域づくりに向けた新たな「つながり・共創」を生み出せたらステキだなと考えています

- ・なんでも植上がりて困る
- ・子どもたちの健康と食を守りたい
- ・自給率が低い日本の食が心配
- ・耕作放棄地が増え地域が荒れている
- ・有機学校給食を実現したい
- ・食品ロスがもったいない
- ・食と農の将来、地球環境も心配…



写真提供：吉田百穂

無理はお願いしませんが、当日お持ちくださるとうれしいもの

1. 食と農への思い、困りごと、課題や話題など
2. みなさんの取組を知らせるチラシやパンフレットなどあれば
3. お昼やおやつにおすすめのお料理や品物など無償でご提供くださるもの

参加のお申し込みは、
二次元コード先の Google フォーム⇒



または電話で、お名前と
連絡先の電話番号をご連絡ください。
電話 026-269-0015 (長野県 NPO センター)

<https://forms.gle/T6ccLvbU6W4ncYdt9>



【主催】環境省中部環境パートナーシップオフィス/EPO 中部
特定非営利活動法人 長野県 NPO センター

〒381-0034 長野県長野市大字高田 1029-1
電話 026-269-0015 FAX026-269-0016
メール info@npo-nagano.org

【協力】NPO 法人食育体験教室・コラボ/信州ひらがな料理普及隊 旬食の会

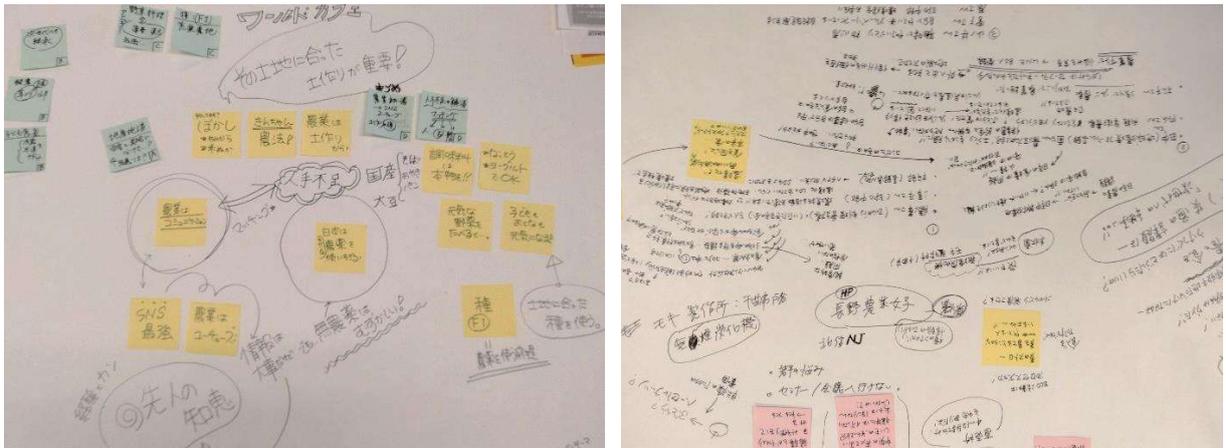
(イ) 実施内容

参加者を4テーブルに分けて、最初のセッションで「自己紹介と食・農の課題や思い」を自由に話し合った。席を変えた2回目のセッションでは「いっしょに考えたい課題や困りごと」をテーマに、「みんなで取り組むなら、これ」という「推し」を決め、3回目のセッションで、推しを実現するためのアイデアと妄想を出しあった。

話の中からは、「つくる人と食べる人をつなげよう」、「長野の食はおいしい。もっと身近で手に入るような仕組みにしよう」など、新たな協働につながるアイデアが出された。



昼食は、参加者が持ち寄ってくださった料理（おやきやニラせんべい、おこわ、煮豆、煮物、漬物、りんごなど）を囲んで、日頃の取組や催しなどを紹介しあった。



(ウ) 参加者の感想

「初めて会う方々と和気あいあいとコミュニケーションができ、とても素晴らしい話し合いだった」「いろいろな人の意見などを聞くことができ、とても勉強になった」「楽しく食と農について話し合うことができた」など、テーマも場の雰囲気も大変好評だった。

また、「若者・学生や男性も交えて語り合いたい」との要望があった。

ウ ワークショップ2：「草刈りバスターズ」は地域のやっかいごとを刈り払えたか！？

(ア) 実施概要

①目的

急激な人口減少が進む中山間地において、豊かな暮らしを維持するための新たな担い手創出の実践として、長野市芋井地区で取り組んでいる「草刈りバスターズ養成事業」などの事例を学び合い、地域の課題解決と関係人口の創出を考える取組の波及を考える機会とする。

②実施日時

2024年2月4日（日）14：00～16：30

③実施場所

長野市ふれあい福祉センター（長野県長野市）

④参加者

18人

⑤事例発表

芋井地区住民自治協議会
長沼ワーク・ライフ組合

(イ) 実施内容

芋井地区住民自治協議会が取り組んでいる「草刈りバスターズ養成事業」と、長沼ワーク・ライフ組合が取り組んでいる「草刈りで地域のつながりを作る」取組事例を聞き、2つのグループに分かれて最初に「地域にある『やっかいごと』と課題」などを自由に出し合った。

出された課題を、解決のため1番に必要と思われる「資金」「設備」「人手」「制度」などに区分けし、特に人手や人材確保に関して具体的な解決策を探ったところ、地域住民を巻き込んだ楽しいイベントを企画して参加意識を高める工夫や、モニターを募集した体験ツアーで地域外から人を集めるアイデアなどが出された。



【開催案内チラシ】

Environmental Partnership Office
EPO中部 環境省 中部環境パートナーシップオフィス

EPO 中部「信州地域における協働取組の促進のためのワークショップ」

「草刈りバスターズ」は地域のやっかいごつを刈り払えたか!?



◇日 時 2024年2月4日(日)14:00~16:30
◇場 所 長野市ふれあい福祉センター 5階ホール

○参加無料
○要事前申し込み (先着40名)



人口減少と高齢化が進む中山間地域を維持していくことは難しい。「SDGs未来都市」である長野県がめざしている「確かな暮らしを守り、信州から豊かな社会を創る」ために必要なことはなんでしょうか？
長野市芋井地域の「草刈りバスターズ」など、地域の取組を聞きながら、いっしょに「持続可能な社会・地域づくり」を考えましょう。



参加のお申し込みは、
二次元コード先の Google フォーム→
または電話か FAX(裏面)で、お名前と連絡先の電話番号をご連絡ください。
電話 026-269-0015 (長野県 NPO センター) 月~金曜日 9:00~18:00



さまざまな悩みを抱える中山間地の自治会や地域おこし協力隊、社会貢献を実践・考えている企業、市民団体や NPO などをはじめ、地域のみなさんもぜひお誘いあってご参加ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【主催】環境省中部環境パートナーシップオフィス/EPO 中部
特定非営利活動法人 長野県 NPO センター
〒381-0034 長野県長野市大字高田 1029-1
電話 026-269-0015 FAX026-269-0016
メール info@npo-nagano.org

<協力>いもいりピンクラぼ(芋井地区住民自治協議会)

エ 事後調査の実施

①ワークショップ1：食育と農による持続可能な地域づくりを考えるワールドカフェ

ワークショップ「食育と農による持続可能な地域づくりを考えるワールドカフェ」に参加した NPO 法人食育体験教室・コラボの関係者から後日聞いたところ、食育活動に関して子どもたちといっしょにできそうなアイデアに刺激を受けて、次年度の取組を検討しはじめたこと。また、ワークショップで知り合った方といっしょに「みそ仕込みイベント」を考えているとのことで、他の参加者とも連絡を取り合って協働を進めたいとのことだった。

また、他の参加者から、地域にある遊休農地の耕作者を探しているとの情報提供があったので SNS で拡散した。引き続き、情報を共有することで関係者をつなぎ合わせ、協働の取組を促進していきたい。

②ワークショップ2：「草刈りバスターズ」は地域のやっかいごとを刈り払えたか！？

ワークショップ「草刈りバスターズは地域のやっかいごとを刈り払えたか」で事例を発表した茅井地区住民自治協議会の担当者に後日聞いたところ、「できる人が、できることを、できる範囲でやる」という長沼ワーク・ライフ組合の考えを参考に、地域内での協働を改めて考えるとともに、地域外から人を集めるモニター体験ツアーの具体化を検討しはじめたとのことだった。

また、ワークショップの様子を地元のケーブルテレビで見たという地域住民から声を掛けられ関心が高まっていること、ワークショップを SNS で知ったという県外者から問い合わせがあり「草刈りバスターズ」の関連資料を提供したとのことだった。

草刈りバスターズが地域内外から注目される取り組みであることを改めて認識し、引き続き地域の課題解決と関係人口の創出を促進していきたい。

オ 情報共有

2つのワークショップの概要は、長野県 NPO センターで「SDGs コネクト信州 NEWS」にまとめてホームページに掲載した。

<https://sdgsconnect2030.com/news/>

また、草刈りバスターズに関しては、長野県 NPO センターが運営するナガノの課題と NPO をつなぐポータルサイト「ナガクル」へイベント取材「『草刈りバスターズ』でも地域のやっかいごとを刈り払うのは大変だ!？」として掲載した。

<https://nagacle.net/topics-9901/>

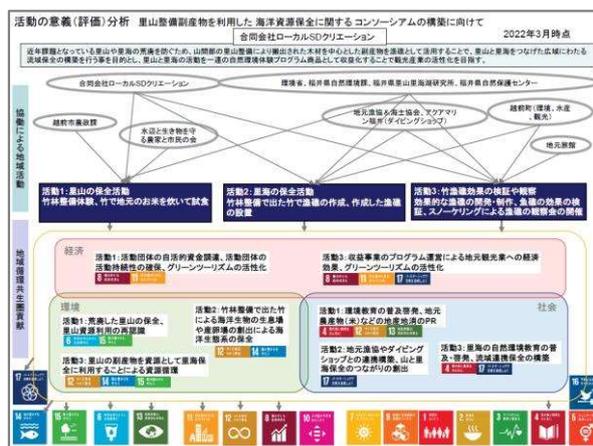
(3) 活動主体への活動の可視化支援とフィードバック（活動見える化プログラムの活用）

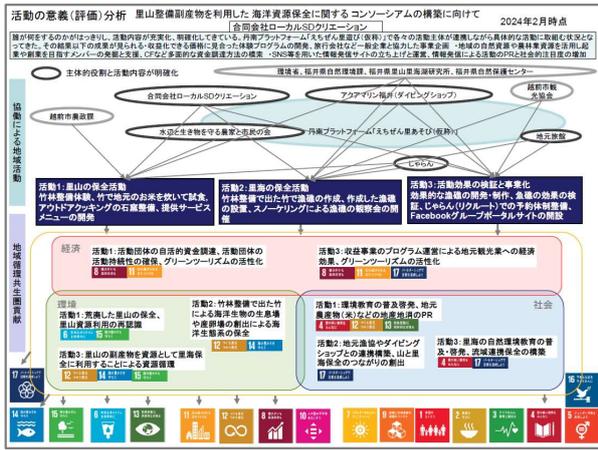
- 地域の活動における地域循環共生圏・SDGs への貢献を可視化する「活動見える化プログラム」を、EPO 中部運營業務に関わる2事例（2地域）の活動を対象にチャート図を作成し、各取組主体へのフィードバックを行った。
- 具体的なフィードバックとしては、活動計画当初にもくろみも含めて作成した「活動見える化プログラム」の分析結果を基に、現状の活動状況をヒアリングし、修正版という形で現時点の「活動見える化プログラム」の分析を行い活動主体に提示した。当初の分析結果で活動計画を構造的に理解するとともに、現状の分析結果と比較することにより、どのように活動内容が深化発展したかを関係者が共有することが可能となる。
- これらの分析とフィードバックの過程の中で、活動主体はチャートを用いたプレゼン資料の作成や連携方法の模索などに活用してもらうとともに、現時点の分析結果をもとにこれまでの成果を確認しつつ自身の立ち位置を確認してもらうことができた。

ア PF 丹南：ローカル SD クリエーションによる「里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築」（福井県丹南エリア）

- 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の環境整備採択団体である合同会社ローカル SD クリエーションへのヒアリングを行い、「里山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築」の活動の見える化プログラムのチャート図を作成した。
- 令和3年度に作成したチャートと比較し、ローカル SD クリエーションにフィードバックを行った。

①分析表





活動内容

活動No	活動1	活動2	活動3
名称	里山の保全活動	里海の保全活動	活動効果の検証と事業化
対象課題	モウソウチク林の拡大による里山の荒廃	里海の水産資源の生息場の減少	竹の漁網としての効果の検証体験プログラムの開発
活動内容	竹林整備体験、竹で地元のお米を炊いて試食、アウトドアッキングの石窯整備、提供サービスメニューの開発	竹筏整備で出た竹で漁網の作成、作成した漁網の設置、スノーケリングによる漁獲の観察会の開催	効果的な漁網の開発・制作、漁獲の効果の検証、じゃらん(リクルート)での予約体制整備、Facebookグループポータルサイトの開設
予想活動成果	荒廃した竹林の環境向上、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識、収益プログラムとしての運用	海洋生物の生息場や産卵場の創出、自然環境教育の普及・啓発、竹の利用価値の再認識	里山資源のワイズユース、水産資源の増加、流域連携保全の構築、収益事業としての運用、観光産業の活性化

協働ステークホルダー

活動1	活動2	活動3
里山の保全活動	里海の保全活動	活動効果の検証と事業化
環境省、福井県自然環境課、福井県里山資源研究所、福井県自然保護センター	越前市観光協会	地元旅館
越前市農政課	アクアマリン福井(ダイビングショップ)	じゃらん
水辺と生き物を守る農家と市民の会		
越前市エコレッジ交流センター		
丹南プラットフォーム「えちぜん里あそび(仮称)」		

分析表

活動1 里山の保全活動

【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
荒廃した里山の保全、里山資源利用の再認識	環境教育の普及啓発、地元産物(米)などの地元産地産のPR	活動団体の自給的資金循環、活動団体の活動持続性の確保、グリーンツリズムの活性化

分析表の下部にはSDGsの達成状況を示すマトリクスがあり、環境、社会、経済の各分野で達成されている項目と、引き続き取り組むべき項目が示されています。

分析表

活動2 里海の保全活動

【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
竹林整備で出た竹による海洋生物の生息場や産卵場の創出による海洋生態系の保全	地元産地産やダイビングショップとの連携構築、山と海のつながりの創出	収益事業のプログラム運営による地元観光客への経済効果、グリーンツリズムの活性化

分析表の下部にはSDGsの達成状況を示すマトリクスがあり、環境、社会、経済の各分野で達成されている項目と、引き続き取り組むべき項目が示されています。

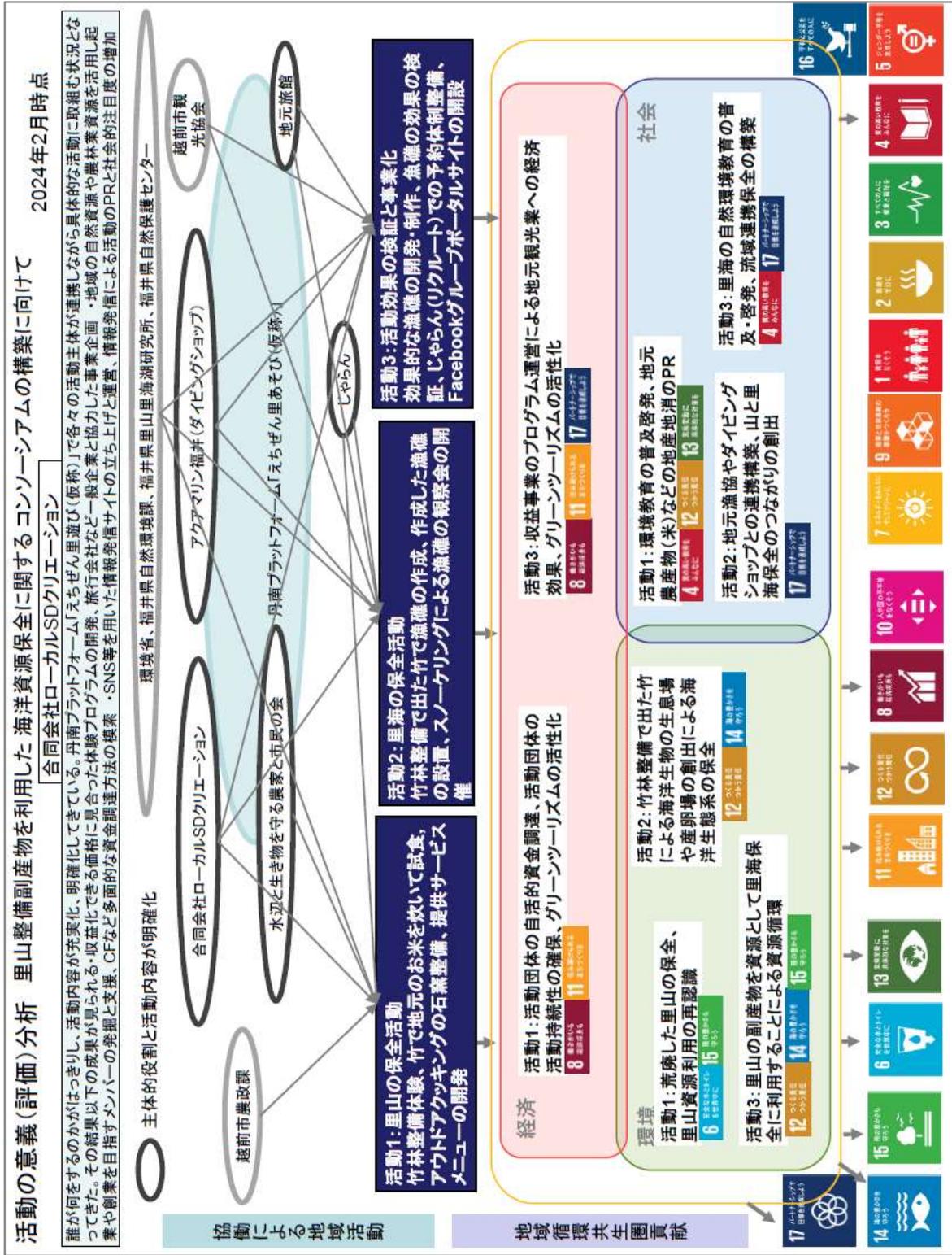
分析表

活動3 竹漁網効果の検証や観察

【環境への貢献】	【社会への貢献】	【経済への貢献】
里山の副産物(竹)を資源として里海保全に利用することによる資源循環	里海の自然環境教育の普及啓発、流域連携保全の構築	収益事業のプログラム運営による地元観光客への経済効果、グリーンツリズムの活性化

分析表の下部にはSDGsの達成状況を示すマトリクスがあり、環境、社会、経済の各分野で達成されている項目と、引き続き取り組むべき項目が示されています。

②活動見える化チャート



イ 長野県 NPO センター等による「いもいりビングらぼの活動」(長野県長野市芋井地区集落)

- 芋井地区住民自治協議会及び長野県 NPO センターへのヒアリングを行い、「いもいりビングらぼの活動」の活動の見える化プログラムのチャート図を作成した。
- 令和4年度に作成したチャートと比較し、長野県 NPO センターにフィードバックを行った。

①分析表

見える化プログラム分析 評価指標の抽出とSDGs指標物語

いもいりビングらぼの活動
分析221013⇒240205
対象団体：長野県NPOセンター

221013時点：壁となった出来事、きっかけ(活動推進のわけ)

全国各地において、市民活動や自治会活動の中心は、これまで高齢の方や主婦の方が担ってきました。しかし、少子高齢化や地域人口の減少、生活スタイルの多様な地域をとりまく環境が大きく変化し、地域活動のあり方に変化が求められています。そんな変化に柔軟に対応するため、長野市芋井地区では、往時だけでなく芋井地区で事業活動を行う団体や大学生など幅広い参加者を募り、これまでの自治会活動とは別に、多様な視点で持続可能な地域を探る場として「いもいりビングらぼ」を立ち上げました。

240205時点：2023年度の活動状況

これまでの自治会活動とは別に、多様な視点で持続可能な地域を探る場として立ち上げた「いもいりビングらぼ」の活動により、当初計画した①再エネ活用、②草刈りバスターズに加えて、③移動居小屋、④地域情報の発信、プロジェクトが立ち上がり、取組が広がっている。当初プロジェクトの実験をまとめた結果、特に②草刈りバスターズについては賛成講座や草刈りの実績が進み、事業化への展望が見えつつある。

活動の意義(評価)分析

いもいりビングらぼの活動
2022年10月時点

小規模な活動として、市民活動や自治会活動の中心は、これまで高齢の方や主婦の方が担ってきました。しかし、少子高齢化や地域人口の減少、生活スタイルの多様な地域をとりまく環境が大きく変化し、地域活動のあり方に変化が求められています。そんな変化に柔軟に対応するため、長野市芋井地区では、往時だけでなく芋井地区で事業活動を行う団体や大学生など幅広い参加者を募り、これまでの自治会活動とは別に、多様な視点で持続可能な地域を探る場として「いもいりビングらぼ」を立ち上げました。

協働による地域活動

活動1: 情報共有の場、学びの場の設置
参加者の声掛け、お互いを知るワークショップ、持続可能な芋井地区に関する講座の開催

活動2: 実験の場の設置①再エネ活用
持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用による脱炭素社会の実現を目指すプロジェクトの推進

活動3: 実験の場の設置②草刈りバスターズ
持続可能な地域づくりにつながる草刈りバスターズによる草刈り作業の推進

活動4: 実験の場の設置③移動居小屋
持続可能な地域づくりにつながる移動居小屋の設置と運営

活動5: 実験の場の設置④地域情報の発信
持続可能な地域づくりにつながる地域情報の発信

経済

活動2: プロジェクト推進に伴う外資(補助金)の導入、再エネによる地域エネルギー生産の促進

活動3: 草刈りバスターズによる地域エネルギー生産の促進

環境

活動2: オフグリッド再エネ活用による脱炭素社会の実現を目指すプロジェクトの推進

活動3: 草刈りバスターズによる草刈り作業の推進

社会

活動4: 移動居小屋の設置と運営による地域コミュニティの活性化

活動5: 地域情報の発信による地域コミュニティの活性化

活動の意義(評価)分析

いもいりビングらぼの活動
2024年2月時点

これまでの自治会活動とは別に、多様な視点で持続可能な地域を探る場として立ち上げた「いもいりビングらぼ」の活動により、当初計画した①再エネ活用、②草刈りバスターズに加えて、③移動居小屋、④地域情報の発信、プロジェクトが立ち上がり、取組が広がっている。当初プロジェクトの実験をまとめた結果、特に②草刈りバスターズについては賛成講座や草刈りの実績が進み、事業化への展望が見えつつある。

協働による地域活動

活動1: 情報共有の場、学びの場の設置
参加者の声掛け、お互いを知るワークショップ、持続可能な芋井地区に関する講座の開催

活動2: ①再エネ活用
持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用による脱炭素社会の実現を目指すプロジェクトの推進

活動3: ②草刈りバスターズ
持続可能な地域づくりにつながる草刈りバスターズによる草刈り作業の推進

活動4: ③移動居小屋
持続可能な地域づくりにつながる移動居小屋の設置と運営

活動5: ④地域情報の発信
持続可能な地域づくりにつながる地域情報の発信

経済

活動2: プロジェクト推進に伴う外資(補助金)の導入、再エネによる地域エネルギー生産の促進

活動3: 草刈りバスターズによる地域エネルギー生産の促進

環境

活動2: オフグリッド再エネ活用による脱炭素社会の実現を目指すプロジェクトの推進

活動3: 草刈りバスターズによる草刈り作業の推進

社会

活動4: 移動居小屋の設置と運営による地域コミュニティの活性化

活動5: 地域情報の発信による地域コミュニティの活性化

活動内容 2024年2月時点

名称	活動1 情報共有の場、学びの場の設置	活動2 実験の場の設置①再エネ活用	活動3 実験の場の設置②草刈りバスターズ	活動4 実験の場の設置③移動居小屋	活動5 実験の場の設置④地域情報の発信
対象者	行政様との地域連携で、自分たちの地域のエネルギーに関する活動スタイル(自転車)の活用、移動、系統電力の利用などが気候変動の原因となっている。芋井地区から太陽光やバイオマスと再生可能エネルギーを活用したオフグリッド生活をすすめて取り入れる家庭を増やそう	持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用の実験的プロジェクトの推進	持続可能な地域づくりにつながる草刈り作業の推進	持続可能な地域づくりにつながる移動居小屋の設置と運営	持続可能な地域づくりにつながる地域情報の発信
活動内容	参加者の声掛け、お互いを知るワークショップ、持続可能な芋井地区に関する講座の開催	持続可能な地域づくりにつながるオフグリッド再エネ活用の実験的プロジェクトの推進	持続可能な地域づくりにつながる草刈り作業の推進	持続可能な地域づくりにつながる移動居小屋の設置と運営	持続可能な地域づくりにつながる地域情報の発信
予感活動成果	関係人口の増加と人的ネットワークの構築、参加者の資力の向上、課題と得意分野の共有・我がごと化、実験プロジェクトの提案	導入可能なオフグリッド再エネシステム調査、導入可能性評価、活用実績	草刈りネットワークシステムの構築と実験的草刈り作業の実施、効果及び導入可能性評価、活用実績	移動居小屋での交流促進による地域のつながり、地域情報・活動情報の発信	地域情報発信手法の開発、地域情報・活動情報の発信

協働ステークホルダー

活動1 情報共有の場、学びの場の設置	活動2 実験の場の設置①再エネ活用	活動3 実験の場の設置②草刈りバスターズ	活動4 実験の場の設置③移動居小屋	活動5 実験の場の設置④地域情報の発信
長野県NPOセンター 芋井地区住民自治協議会	長野県環境保全協会、長野市環境保全温暖化対策課、飯綱高原観光協会	芋井地区広瀬各区分会、地域おこし協力隊	DENSO(アプリ開発、実験)	

分析表

活動1
情報共有の場、学びの場の設置

【環境への貢献】 【社会への貢献】 【経済への貢献】

地域のつながりが強化、関係者のネットワークが拡大、参加者の資力の向上、課題と得意分野の共有・我がごと化、地域活動の提案

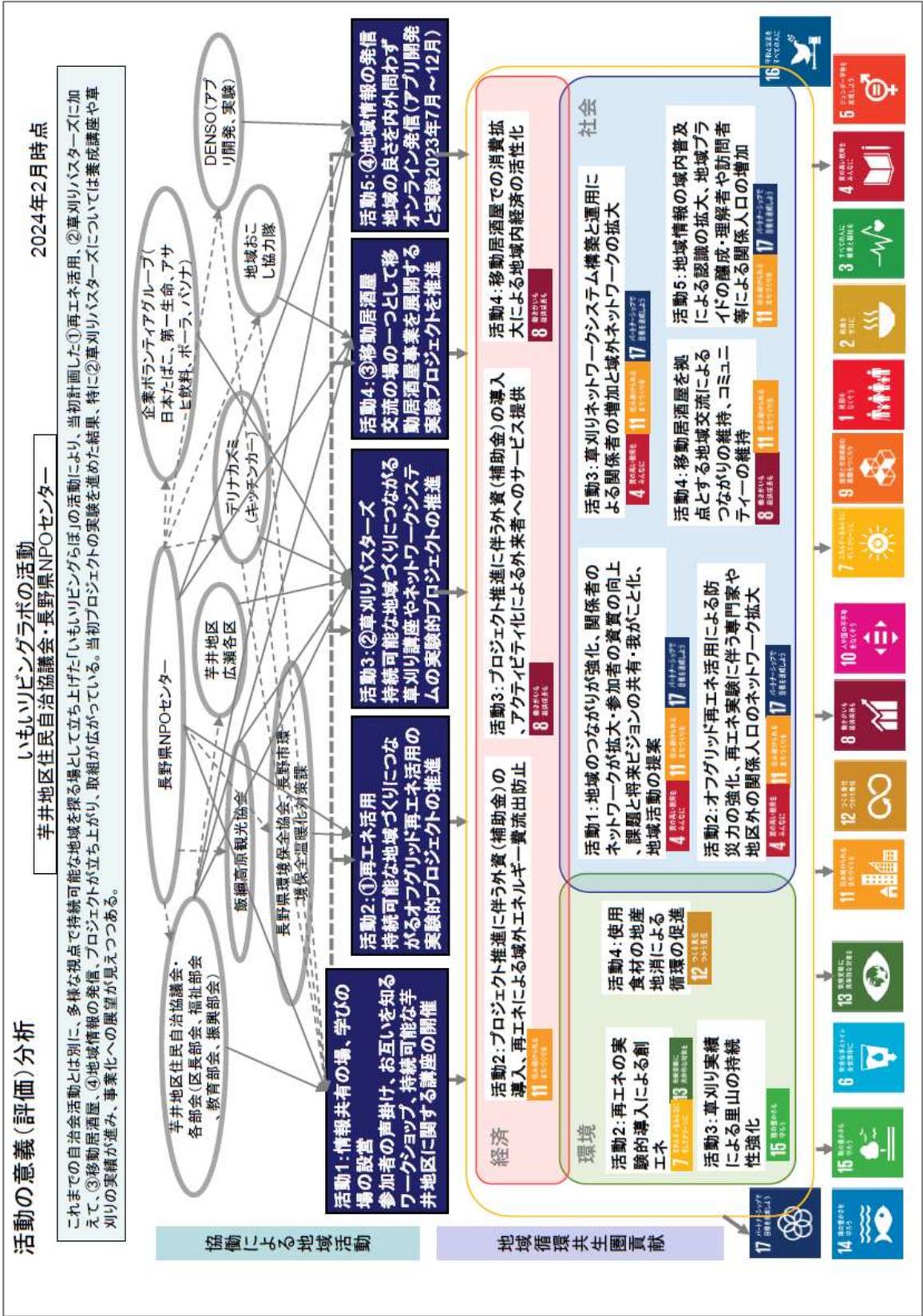
導入可能なオフグリッド再エネシステム調査、導入可能性評価、活用実績

草刈りネットワークシステムの構築と実験的草刈り作業の実施、効果及び導入可能性評価、活用実績

移動居小屋での交流促進による地域のつながり、地域情報・活動情報の発信

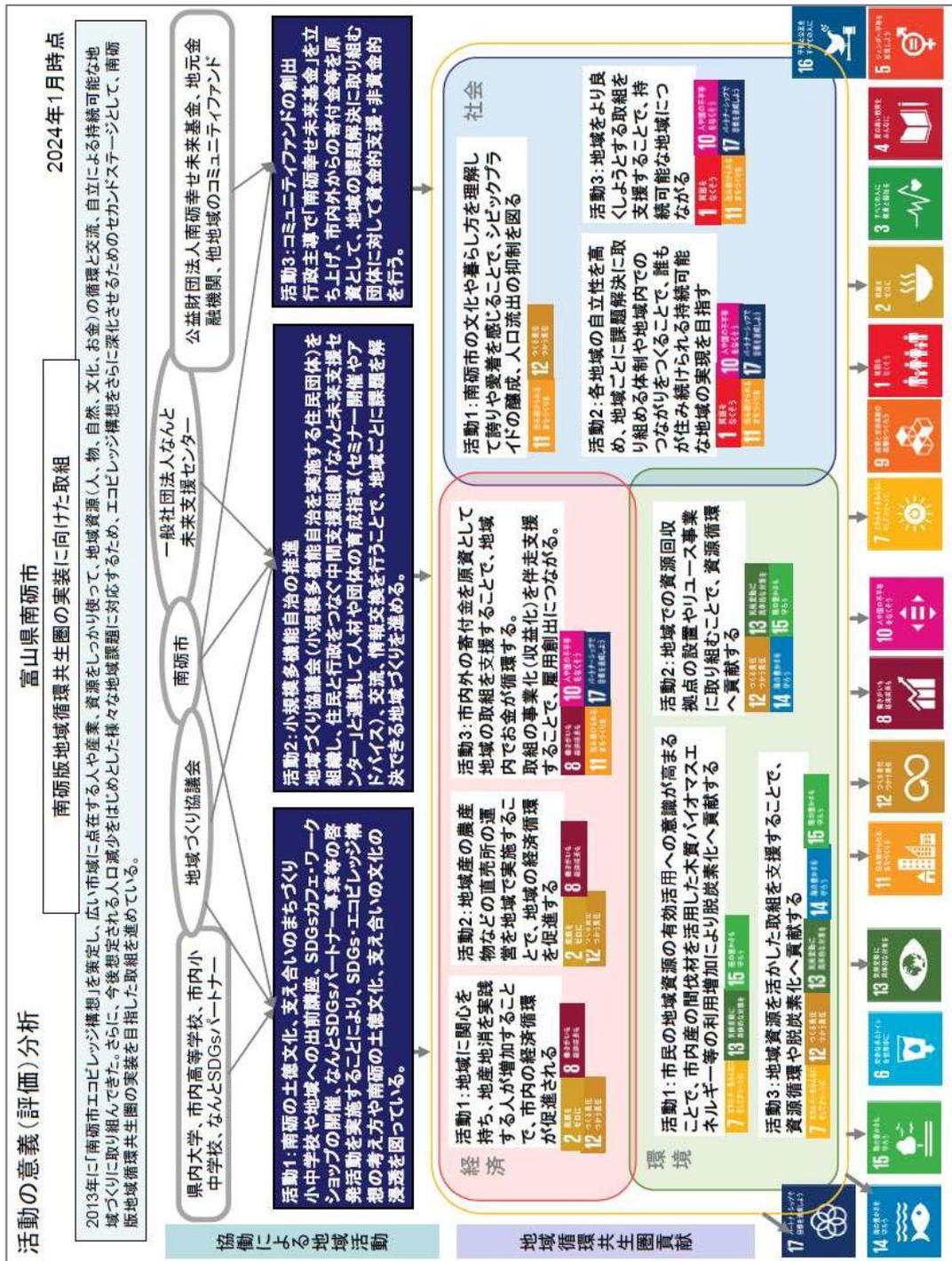
地域情報発信手法の開発、地域情報・活動情報の発信

②活動見える化チャート



ウ その他の事例

- 2 事例のほか、SDGs 学生サミットに登壇した3自治体（富山県南砺市、長野県上田市、岐阜県美濃加茂市）のSDGs 未来都市としての取組についても活動見える化プログラムのチャート図を作成した。



活動の意義(評価)分析

長野県上田市

ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健康都市

2024年1月時点

課題としては自然減・社会減による人口減少や少子高齢社会の進展により、中心市街地の空洞化等が進んでおり、これらに対応するため「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」や「スマートシティ化」の推進により、市民が幸福を感じられる社会の形成を図ることで「健康都市うすだ」の実現を目指すこととした。



活動1: [都市計画] 電動シェアサイクル 二酸化炭素排出量の削減目標や排出抑制に向けた取組みを図るための、ゼロカーボンシティ宣言、再生可能エネルギーの開発・普及

活動2: [環境政策] ゼロカーボンシティの実現「脱炭素先行地域の取組」 脱炭素施策の推進、脱炭素先行地域計画の実施、地域エネルギー会社の設置 (R6.4予定)

活動3: [交通政策] デジタル決済アプリ「Ticket QR」を 鉄道、バス、タクシー事業者の協力を得て、デジタル決済アプリ「Ticket QR」を 導入。利用者は、小銭・両替不要による乗降時等の滞留防止、バス運行遅延の 改善、運行情報の取得等の利便性の向上。交通事業者は、現金管理コストの 削減、乗降データの取得・分析によるダイヤ改正等の営業戦略への活用。行政 は、事業者コスト削減に伴う運行費補助金の削減、プッシュ通知による利用者ア ンケートの実施。



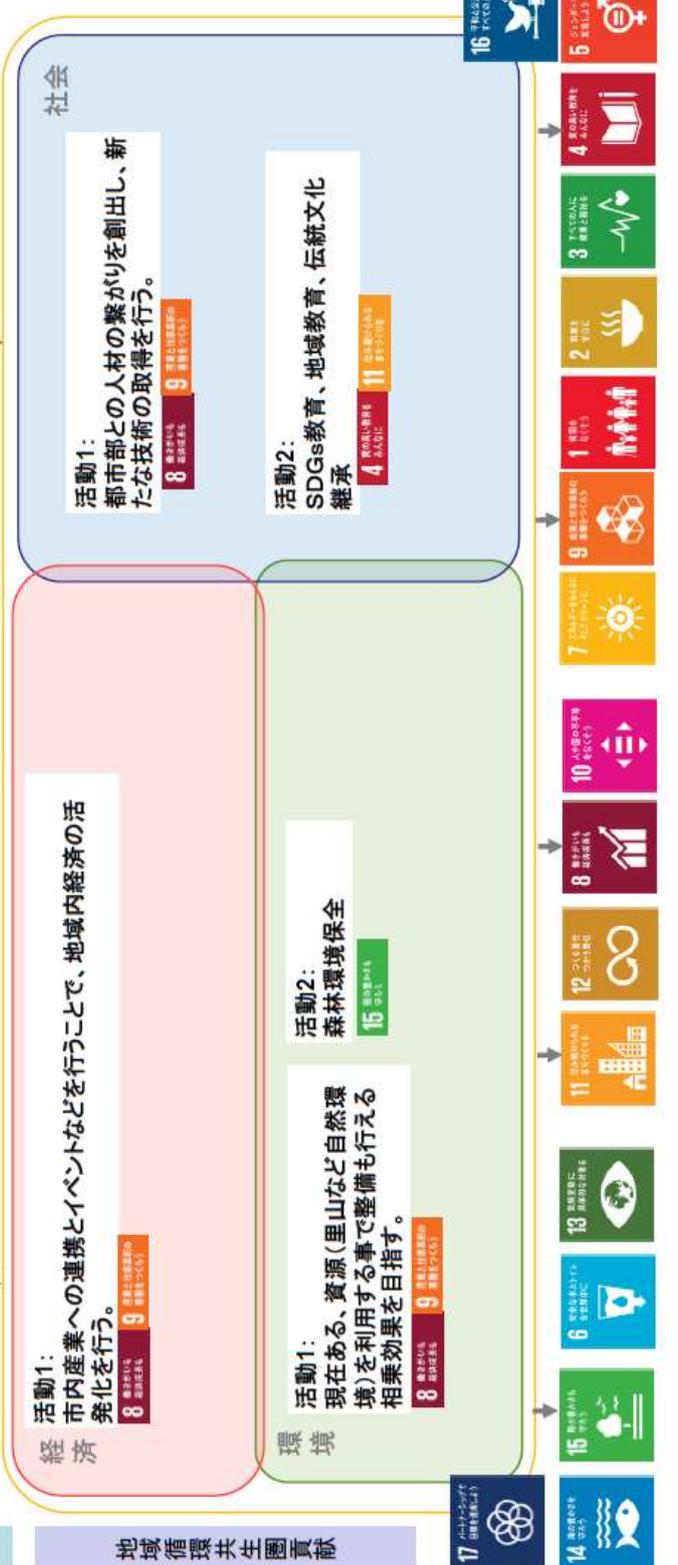
活動の意義(評価)分析

岐阜県美濃加茂市

2024年1月時点

新たな価値を生み出す里山 リ・デザイン「ローカルSDGsみのかも」

一年を通して穏やかな過ごしやすい気候にあり、豊富な里山資源に恵まれている。また、中部地方の経済拠点である名古屋から車で一時間弱とアクセスも良い。工場誘致に成功し、人口は1960年以降増加傾向を続けてきたが、今後は減少を予測されており、市の財政負担削減と施策効果の最大化を図る仕組みをつくるのが課題である。市民や民間企業から地域の社会課題を集め、官民の取組による社会課題解決型ビジネスを創出し、地域循環共生圏＝「ローカルSDGsみのかも」の実現を目指す。



(4) 活動主体等への情報・意見交換会の実施

①会議名

- EPO 中部・協働コーディネーター情報交換会

②日時

- 2023年9月1日（金）13：30～16：00

③会場

- ウィンクあいち9階・会議室905（愛知県名古屋市）

④出席者

- 11名（協働コーディネーター6名、中部地方環境事務所2名、事務局3名）

茶木 勝	株式会社ティー・ツリー・コミュニケーションズ 代表取締役 白萩地域山村活性化協議会、純国産メンマプロジェクトリーダー
堺 勇人	一般社団法人環境市民プラットフォームとやま（PEC とやま）常務理事/ 事務局長
中里 茂	環境カウンセラー
三田村 佳政	合同会社ローカルSDクリエイション 社長
中寫 阿児	NPO 法人 WAC おばま 理事、NPO 法人若狭くらしに水舎 代表理事
寺田 卓二	一般社団法人ネクストステップ研究会 代表
曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長
縄野 正衡	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長補佐
清本 三郎	事務局 EPO 中部統括
原 理史	EPO 中部・中部地方 ESD 活動支援センター
富田 夏子	事務局

⑤協議項目

- 自己紹介と近況報告
- 話題提供1：環境省から：情報提供・情報共有等
- 話題提供2：協働コーディネーターから：環境省事業、EPO 中部との連携業務等の紹介
- 話題提供3：EPO 中部から：「見える化プログラム」「SDGs 指標物語」の紹介
- 質疑応答と意見交換



(5) ローカルSDGs/地域循環共生圏のためのグループワーキング

① イベント名

- 自治体職員向けローカルSDGs/地域循環共生圏セミナー「ローカルSDGsの指標と達成度評価～活用可能なサイト/ツールの紹介とトライアル（試してみましよう！）～」

② 日時

- 2023年11月6日（月）13:30～16:30

③ 会場

- ウィンクあいち 12階・会議室1201（愛知県名古屋市）

④ 主催等

- 主催：環境省 中部環境パートナーシップオフィス

⑤ 参加者

- 19名（参加者12名、登壇者2名、中部地方環境事務所2名、事務局3名）

⑥ プログラム

- ごあいさつ、情報提供
- EPO中部の紹介と本日の趣旨について
- 基調講演「ローカルSDGsの策定とその達成に向けたアクションを誘発するオンラインプラットフォーム」
法政大学デザイン工学部教授 川久保 俊 氏
- 話題提供「自治体SDGsモニタリングツールと達成度評価(2015-2022)」
国際連合地域開発センター研究員 浦上 奈々 氏
- 事例を見える化「EPO中部による「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」
EPO中部 原 理史
- 共有ディスカッション
（SDGsの活用、実践における課題感、今回紹介サイト/ツールの活用アイデア）
進行：EPO中部 原 理史
- 講評
国際連合地域開発センター研究員 浦上 奈々 氏
法政大学デザイン工学部教授 川久保 俊 氏

